

# 立志 プロジェクト 書評のための課題図書



2026

4/1 ~ 6/14

Wed.

Sun.

大岡山図書館地下1階  
Ookayama Library B1F

立志プロジェクトとは？  
毎年4月に行われる学士  
1年生の教養必修科目です  
図書館では書評のための  
課題図書を展示しています

※展示中の図書は貸出できません



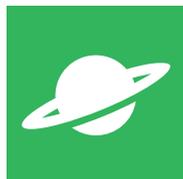
学んで、知って、考える



歴史と人物



世界を知る、社会を変える



自然と技術



聞いて、話して、物語る



見て、感じて、創る



生きて、愛して、旅をする

# 目次

- 1 学んで、知って、考える —— 「教養」って何? ……2 p
- 2 歴史と人物 —— 「人間」って何? ……19 p
- 3 世界を知る、社会を変える —— 「現代」って何? ……29 p
- 4 自然と技術 —— 「科学」って何? ……41 p
- 5 聞いて、話して、物語る —— 「言葉」って何? ……52 p
- 6 見て、感じて、創る —— 「想像力」って何? ……64 p
- 7 生きて、愛して、旅をする —— 「人生」って何? ……71 p

●以下のコメント（推薦文）には、

大学統合前に執筆されたものが含まれます。

また、ここで紹介されている図書には複数の版があるものや

複数の出版社から出版されているものがあります。

そのため、煩雑さを避けるべく出版年はあえて記載していません。

●ブックログ

大岡山・すずかけ台図書館でこれまで実施してきた展示で取り上げた図書を、ブックログでご紹介しています。

こちらもあわせてご覧ください。

<https://booklog.jp/users/lidance>



## 1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

朝日新聞「国立大の悲鳴」取材班『限界の国立大学』（朝日新書）



国立大学は2004年に法人化し20年が経ちました。その間の大学政策は、運営費交付金の削減、研究力の低下など必ずしも良い方向には進んでいないと考えられています。法人化後の国立大学の現状について理解することは、これから東京科学大学で勉学に励む皆さんにとって意味があると思います。

大岡山図書館 81F-一般図書 377.1/A



## 1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

池上彰

『池上彰の教養のススメ 東京工業大学リベラルアーツセンター篇』  
(日経 BP 社)



池上彰さんが東工大リベラルアーツセンターの教授に着任したのが2012年のこと。この本はそれ以後のシンポジウムでの討論や、東工大の名物教授たちとの対談などが収められている。なぜ理工系の大学なのに「教養」が必要なのか。東工大生の素晴らしい点と弱点は何なのか？ ハーバード、MITなどの教養教育も紹介されている。「最先端のことだけを学んでも5年も経てば古びて使い物にならなくなってしまいます。その時にさらに前に進むためには、文学や哲学、宗教といった何百年も古びない学問こそ大学の時に学んでおくべきなのです」というMITの教授の発言にはインパクトがある。対談形式で書かれているので、とても読みやすい本だ。

大岡山図書館 81F-一般図書 002/I  
大岡山図書館 81F-「先生の本」文庫 002/I  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 002/I  
すずかけ台図書館 2F-「先生の本」文庫 002/I

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

稲垣佳世子、波多野誼余夫  
『人はいかに学ぶか——日常的認知の世界』（中公新書）



人が学ぶとは、生得的な認知制約と、文化的な認知制約を受けながら、外部から伝達される知識を内的制約と照らし合わせつつ再構築していることや、学習者同士が影響し合うことなど、「学び」について多角的に解説している一冊です。

大岡山図書館 81F-一般図書 141.3/I  
大岡山図書館 81F-文庫・新書 081/Ty/907  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 141.3/I

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

伊原康隆  
『志学数学——研究の諸段階・発表の工夫』（丸善出版）



高校までは数学と比較的仲良くしてきたし、大学でも数学に興味がある！という皆さんにおすすめです。高等数学に興味をもって、「勉強」から「研究」へシフトしていく際の考え方や心構えの解説は、数学科に進みたい学生は必見ですし、様々な事柄について具体的にしっかり書いてあります。発表の方法などにも言及されていて、とても参考になります。

大岡山図書館 81F-一般図書 410.7/I  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 410.7/I

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

今井むつみ

『学びとは何か——〈探究人〉になるために』（岩波新書）



この本では、「学ぶ」とは単に知識を覚えることではなく、自ら考え、理解し、使いこなす力を育むプロセスだと説きます。本書は認知科学や教育心理学の知見をもとに、効果的な学びの方法や考え方を具体的に解説しています。大学生がこれからの学びを主体的に進めるための指針となる一冊です。「なぜ学ぶのか」「どう学ぶべきか」を考え、自分自身の学びを深めてください。

大岡山図書館 B1F-一般図書 141.33/I

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

梅棹忠夫

『情報の文明学』（中公文庫）



皆さんは、高校の情報科で何を学びましたか？ 情報を使いこなす上で大事なものは何か、技術的な理解を深めることと、情報の意味や価値、社会的影響を理解することと、どちらが重要なのかを考えるきっかけになればと思います。

大岡山図書館 B1F-一般図書 007.3/U（中公叢書，中公文庫）  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 007.3/U（中公文庫）

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

大栗博司

『探究する精神 職業としての基礎科学』（幻冬舎新書）



例えば、人はどんな道を選んで理論物理学者になるのだろうか。その過程ではなにを学んでいるのだろうか。『探究する精神』は、素粒子論を専門とする大栗博司先生が、子供の頃の思い出から、職業として科学者を選んで活躍するまでの半生の道筋を聞かせてくれる得がたい本だ。特に大学での勉強の三つの目標を案内するくだりは、みなさんの参考になると思う。意外に思われるかもしれないけれど、大栗先生はご自身がそうだったように、リベラルアーツや哲学や歴史を学び、幅広い本を読んでおく重要性を指摘している。そんな文系っぽい科目は不要なんじゃないの？と思ったら、まずはそのくだりだけでも見てみてください。

大岡山図書館 B1F-一般図書 404/0

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

岡潔、小林秀雄

『人間の建設』（新潮文庫）



昭和を代表する文芸批評家と数学者による極めて示唆に富む創造的対話集。人間の精神的営為に関して縦横無尽に語り合い、その本質を見事に浮き彫りにする。感性や情緒が、知性や論理に優先・優越し、それらの根源になるという両者の基本認識は、現在の表層的な文理の差異を超越しうる普遍的世界観として、これまで以上に重要である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 404/Ko（新潮文庫）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 914.6/Ko/13（小林秀雄全集）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 914.6/Ko/s1（小林秀雄全集）  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 404/Ko（新潮文庫）

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

隠岐さや香

『文系と理系はなぜ分かれたのか』（星海社新書）



自分は理系であると自負している人が多いでしょう。何かにつけて「理系だから」と誇ったり弁解したりする前に、理系と文系という枠組みがどのように生じたのか考えてみませんか。両者の違いを知ること、対話のきっかけが生まれるかもしれません。両者の起源を知ること、理系と文系という枠組みが消えた先の未来を考えるヒントが得られるかもしれません。

大岡山図書館 B1F-一般図書 002/ O  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 002/0

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

サルマン・カーン

『世界はひとつの教室

——「学び×テクノロジー」が起こすイノベーション』

（ダイヤモンド社）



The one world schoolhouse: Education Reimagined の翻訳書です。いとこのための家庭教師から始めて、Khan academy というオンライン上の教育プラットフォームを立ち上げる過程の筆者の取り組みを知り、学びとは何か、テクノロジーが教育をどう変えうるのか、学校教育のシステムはどうあるべきか、考えてみよう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 379.7/Kh  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 379.7/Kh



〈原著〉  
The one world schoolhouse : education reimagined / Salman Khan  
大岡山図書館 B1F-一般図書 379.7/Kh



1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

川喜田二郎

『発想法——創造性開発のために』（中公新書）



現在は「KJ法」と呼ばれている研究方法について文化人類学が専門で東工大の教員だった著者が書いたものです。第1章は科学論になっていて、科学を「実験科学」「書齋科学」「野外科学」の3つに分けて「野外科学」の進め方を説いています。続編もあります。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 301/Ka/1

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 081/Ty/136

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 301/Ka/1



1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ハル・グレガーセン

『問いこそが答えだ!——正しく問う力が仕事と人生の視界を開く』

(光文社)



正しい問いを見つけることの重要性とその方法がわかります。よい問いの作り方、問う能力の磨き方を知りたいとき、問いを変えてよりよい答えを導きたいとき、イノベーティブなアイデアを得たいとき、有用な一冊です。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 141.5/G

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 141.5/G



〈原著〉

Questions are the answer : a breakthrough approach to your most vexing problems at work and in life / Hal Gregersen

大岡山図書館 B1F- 一般図書 141.5/G

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

黒田明伸

『貨幣システムの世界史』（岩波書店）



経済学はおカネの学問だと言われますが、貨幣は経済学にとってまさに鬼門です。ありとあらゆる貨幣論が乱立しています。しかし、貨幣論をやらずして経済学をやったとは言えません。本書は、混沌とした貨幣論の世界に踏み込むための一つの足掛かりになります。

大岡山図書館 B1F-一般図書 337.2/Ku  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 337.2/Ku

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

マシュー・サイド

『失敗の科学』有枝春訳（ディスカヴァー・トゥエンティワン）



「失敗」と聞くとネガティブな印象を抱きがちですが、失敗は成長への重要な手がかりです。『失敗の科学』では、具体的な事例をもとに、失敗における人間の心理や失敗を活かすことがどう成功につながるのかについて紹介されています。失敗を恥じるのではなく、原因を見つめ改善につなげる姿勢こそが前進を生み出します。本書を通じて、失敗への見方をあらためてみませんか。

すずかけ台図書館 2F-一般図書 141.5/Sy

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

佐藤学

『教師たちの挑戦 —— 授業を創る、学びが変わる』(小学館)



子供たちが学び合う教室の風景。21世紀の世界で起きている授業の「静かな」革命。本書は、その具体的な姿を描き出す。初版は2003年。

大岡山図書館 81F-一般図書 375.1/Sa  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 375.1/Sa

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

柴田義松

『ヴィゴツキー入門』子どもの未来社(寺子屋新書)



「アクティブラーニング」の本質は、学ぶ力をつけることであり、そのためには、学びそのものについて理解することが近道です。本書では、議論する力、そのベースとしての言語力の重要性についても考える機会が得られるでしょう。

大岡山図書館 81F-一般図書 140.2/Si  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 140.2/Si

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

管啓次郎

『本は読めないものだから心配するな』（ちくま文庫）



「入学してすぐに立志プロジェクトという授業があって、課題の一つが「書評」か、でもそもそも本なんて読んだことないんだよね」と思って不安になっている学生さんが、課題図書のリストにこんなタイトルの本を見つけたらちょっとほっとするかも、と思って選びました。とはいえ内容は本当に真摯な読書論、あるいは読書と旅を通じて世界を知ろうとする試みです。著者の言うとおり、書かれていることがわからなくてもあまり心配せずに読む過程で、いろんなことを学び、次の読書につなげてほしい、そして旅に出てほしい、と思います。そして、読み終わっても手元に置いて、気が向いたときにぱっとランダムに開いてほしい本です。

大岡山図書館 81F-一般図書 019.04/Su

すずかけ台図書館 1F-パブリック文庫：文庫・新書 019/Su（ちくま文庫）

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

スティーブン・スローマン、フィリップ・ファーンバック

『知ってるつもり——無知の科学』土方奈美訳（ハヤカワ文庫）



なぜ人は、本当はよく知らないことを「知ってるつもり」になってしまうのか。本書で認知科学を専門とする著者たちは、各方面の専門家やプロたちが実際にやらかした「そんなバカな」と驚くような失敗例を通じて、私たちが「知識の錯覚」に陥るメカニズムを論じている。古来、自分の無知を自覚することを「無知の知」と言うけれど、本当の問題はその手前、「無知の無知」にどうやって気がつけるのかなのだ。え、そんなこと知ってた？ そう思ったあなたは、まずこの本を読もう。話はそれからだ。

大岡山図書館 81F-一般図書 141.5/SI

すずかけ台図書館 2F-一般図書 141.5/SI

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ソポクレス

『オイディプス王』河合祥一郎訳（光文社古典新訳文庫）



書かれたのは紀元前5世紀。1時間ほどで読めますが、2400年以上の時の流れが凝縮されたかのような濃密な読書体験が得られます。ネタバレになるので、ここでは犯人の正体には触れませんが、結末を知っていて読んでも、刻々と破滅へ向かう運命の歯車の恐ろしさに戦慄します。汎用AIが全ての判断を下す時代が来たら、この物語のように、人間は「神託」の意味を理解できぬまま、予め決定された未来に向かって生きていくことになるのかもしれませんが。オイディプスの神話はフロイトのエディプスコンプレックスやドゥルーズとガタリの『アンチ・オイディプス』など、随所で援用される概念ですから、必ず知っておくべき教養として、いずれは読まねばならないこととなります。この機会に読んでしまっておくことをお勧めします。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 991.2/So



〈関連図書〉  
オイディプス王 / ソポクレス [著] ; 藤沢令夫訳 (岩波文庫)  
大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Ie/105  
大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 991/So  
すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 991/So

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

高根正昭

『創造の方法学』（講談社現代新書）



知的生産のために必要な科学的な方法論を、筆者の留学時代の体験談なども交えながら解説している方法論を概観した入門書です。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 301.6/Ta

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 301.6/Ta

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ジョン・デューイ

『学校と社会』（講談社学術文庫、岩波文庫）



教育学の見果てぬ夢。前世紀の幕開けに、アメリカを代表する哲学者は、民主的な社会の建設を、何よりもまず教育に託した。原著の初版は1900年。

大岡山図書館 B1F-一般図書 371.253/D (講談社学術文庫)

大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Iz/88 (岩波文庫)

大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 371.253/D (岩波文庫)

すずかけ台図書館 2F-一般図書 371.253/D (講談社学術文庫)

すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 371.253/D (岩波文庫)



〈原著〉

The school and society / by John Dewey  
大岡山図書館 B1F-一般図書 371.253/D

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

中原淳

『働く大人のための「学び」の教科書』（かんき出版）



この本では、「大人の学び」を身につけるために必要な原理原則や行動が、わかりやすく解説されています。大学生は、自ら主体的に学びを構築していかなければなりません。本書は「働く大人のための」とタイトルにありますが、高校生から大学生へと成長し、「大人の学び」を身につける必要がある皆さんに、多くのヒントを与えてくれる一冊です。

大岡山図書館 B1F-一般図書 159.4/N

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

夏目漱石

『三四郎』（岩波文庫、新潮文庫、角川文庫など）



いまさらと感ずるかも知れないが、未読の人はさっそく、既読の人は再度通読して欲しい。明治時代の学生と今の学生はどこが同じでどこが違うのか。大学で学ぶとはなにかなど、新鮮に感じるのではないだろうか。ところで、三四郎が最初に出会ったとき広田先生はなんで水蜜桃を食べているのだろう？ 私は読み返すたびに不思議になる。馬鹿みたいな味だからってほんとうかな？ それから、三四郎は大学を出たあとでどういう仕事に就くのだろう。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 913.6/N (岩波文庫・角川文庫)  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918/I/13 (日本文学全集)  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918/N/8 (日本文学全集カラー版)  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918.6/Si/3 (新潮日本文学)  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918.68/N/7 (漱石文学作品集)  
大岡山図書館 B1F- 集密：一般図書 W000520 (日本の文学)  
大岡山図書館 B1F- 集密：一般図書 W007363 (漱石全集)  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 913.6/N (岩波文庫)



〈電子ブック〉  
漱石全集 / 夏目金之助著  
<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokyotech/bookdetail/p/KP00013610>



〈関連図書〉  
Sanshirō : a novel / Natsume Sōseki ; with an introduction by Haruki Murakami ; translated with notes by Jay Rubin  
すずかけ台図書館 1F- バリバトス文庫：洋書 913.6/N

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ピエール・バイヤール

『読んでいない本について堂々と語る方法』大浦康介訳（筑摩書房）



タイトルはふざけているが内容は極めて真っ当。数多ある読書論の中でも出色の出来。「本について語るためにその本を読んでいる必要などない、大事なのは読者共同体がそこに何が書かれているかだ」といった刺激的な主張が次々と繰り出される。本を読むとはどういうことか？何をすれば本を読んだことになるのか？情報爆発の時代にわれわれは書籍とどう付き合っていけばよいのか？こうした問いについて考える上で、本書は多くの示唆を与えてくれる。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 019/B  
大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Tba/46  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 019/B



〈電子ブック〉  
How to talk about books you haven' t read / Pierre Bayard ; translated from the French by Jeffrey Mehlman  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=2675051&lang=ja&site=ehost-live>

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ダレル・ハフ

『統計でウソをつく法——数式を使わない統計学入門』高木秀玄訳  
(講談社ブルーバックス)



欲しい情報は簡単に得られても、その情報を正しく読み解く力がなければ、宝の持ち腐れです。高校数学でもデータ分析を学びますが、単なる計算法を知っていることと、正しくデータを読むこととの違いを考えてみましょう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 350.1/H  
大岡山図書館 B1F-一般図書 408/B/120  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 350.1/H  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 408/B/120



〈原著〉  
How to lie with statistics / by Darrell Huff ; illustrated by Irving Geis  
大岡山図書館 B1F-一般図書 350.1/H

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

カイザー・ファング

『ヤバい統計学』矢羽野薫訳 (CCCメディアハウス)



多くの本は「統計学は嘘をつく」と言う。しかし、それでは統計学やデータ分析はどこで使われているのだろうか。この本はそれを教えてくれる。「ヤバい」というタイトルに反して内容は非常に堅実で、統計学をポジティブに評価する一冊である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 417/F  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 417/F



〈電子ブック〉  
Numbers rule your world : the hidden influence of probability and statistics on everything you do / Kaiser Fung  
全文 PDF のダウンロード等にはアカウントの作成が必要です。  
<https://ebookcentral.proquest.com/lib/tokyotech/detail.action?docID=6258960>



〈原著〉  
Numbers rule your world : the hidden influence of probability and statistics on everything you do / Kaiser Fung  
大岡山図書館 B1F-一般図書 417/F



1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

藤田英典

『教育改革 —— 共生時代の学校づくり』(岩波新書)



20年前の「教育改革」は、私たちの教育の土台を作り出している。本書を手に、学校教育の意義と課題を、確かな眼差しで見つめ直そう。初版は1997年。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 373.1/H

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 081/Id/511

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 373.1/H



1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ヴィクトール・E・フランクル

『それでも人生にイエスと言う』 山田邦男・松田美佳訳 (春秋社)



『夜と霧』の著者として有名なフランクルが、ナチスの強制収容所から解放された翌年に行った講演を収めた本であるため、フランクルからの語りかけを感じながら読み進められることでしょう。「生きる意味とは?」。この問いをもった人はぜひ読んでみて下さい。これから生きていく中で繰り返し読みたくなる本となるはずです。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 146.8/F

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 146.8/F



〈原著〉

Trotzdem Ja zum Leben sagen : ein Psychologe erlebt das Konzentrationslager / Viktor E. Frankl ; Vorwort von Hans Weigel

大岡山図書館 B1F- 一般図書 146.8/F

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ジョージ・ポリア

『いかにして問題をとくか』（丸善出版）



数学の問題を解くために、どのように問題を分析すればよいかを、数学者である著者が具体例を交えて書いている本です。1945年に世に出た本ですが、今でも多くの人に読み継がれています。著者は1934年に、G. H. HardyとJ. E. Littlewoodとの共著でInequalitiesという本を執筆しており、確かに膨大な数学的経験があった上での労作だということがわかります。

大岡山図書館 B1F-一般図書 410.7/P

大岡山図書館 B1F-集密：一般図書 W032485

すずかけ台図書館 2F-一般図書 410.7/P



〈電子ブック〉

いかにして問題をとくか / G. ポリア著；柿内賢信訳  
<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokyotech/bookdetail/p/KP00059190>



〈電子ブック〉

How to solve it : a new aspect of mathematical method / G. Polya ; with a foreword by John H. Conway  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=1069064&lang=ja&site=ehost-live>



〈原著〉

How to solve it : a new aspect of mathematical method / by G. Polya  
大岡山図書館 B1F-集密：一般図書 Y005769  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 410.7/P

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

J・L・ボルヘス

『七つの夜』野谷文昭訳（岩波文庫）



いつでもくり返し目をみはり耳を澄ますために、私たちは知識を求め、固定しそうな像をゆさぶる。深く広く知ることは精神が身軽になることだと教えてくれる講演集。テーマは夢、詩、仏教など一夜毎に自由に広がる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 964/B

大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Ie/792

すずかけ台図書館 2F-一般図書 964/B



〈原著〉

Seven nights / Jorge Luis Borges ; translated by Eliot Weinberger ; introduction by Alastair Reid  
大岡山図書館 B1F-一般図書 964/B

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

マーシャル・マクルーハン  
『メディア論——人間の拡張の諸相』  
栗原裕、河本仲聖訳（みすず書房）



1964年に発行された本だが、インターネットとスマートフォンの普及であらゆる個人がマスメディアになり得る現代こそ、読まれるべき本。「メディアはメッセージ」「メディアは人間の身体  
の拡張手段」というテーゼを掲げ、メディアは技術によってその表現や伝達範囲をどんどん進化  
させていくことが理解できる。技術革新によって引き起こされたインターネット以降のメディア  
革命の重要な担い手が東京科学大学の学生たちのような理系が中心であり続けている、というこ  
ともわかるはず。

大岡山図書館 B1F-一般図書 361.453/M

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

松岡亮二  
『教育格差——階層・地域・学歴』（ちくま新書）



社会関係資本や文化資本の「相続」と「階層」の再生産というテーゼは、古くはフランスの思  
想家P・ブルデューが定式化した。そのテーゼに則し本書は、大規模縦断データをもとに日本の  
教育状況を検討し、階層間や地域間での教育格差が存在し、それが世代を超えて引き継がれてい  
ることを実証する。都市部出身で比較的裕福かつ文化水準の高い家庭出身者の割合の大きい、東  
工大生にこそ、本書は読んで欲しい。自己の「意志」や「努力」のほかに、所与に存在する構造  
的な格差や階層性が個人の人生や選択に大きく影響を与えていることを知ることは、みなさんが  
自身を相対化し、より良い知性と人間性を獲得する上での一助となるだろう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 372.1/M  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 372.1/M

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

エリン・メイヤー

『異文化理解力

——相手と自分の真意がわかるビジネスパーソン必須の教養』

田岡恵監訳、樋口武志訳（英治出版）



大学院時代に、「あなたが誘ってくれないせいで、私は昨日ランチを一人で食べたわ」とドイツ人の留学生の友人から言われた。日々研究室で計算を行い、その集中が切れた隙間にフラフラと学食に昼食（兼夕食）を食べに行っていた私にはランチを一人で食べることの何が悪いのか全くわからず、ランチの時間まで合わせるのちょっとめんどくさいなど正直思ってしまった。しかしながら、実際にドイツの研究室に滞在してみて、なるほど、一人で食事を取る習慣があまりないのだと気づき、当時の友人の孤独を思い申し訳なく思った。幸せの指標、時間の感覚、友人と恋人の定義と境界線。学業や仕事を通して、我々はますます異文化への理解力が求められる。近年「自分のことを伝える力」が大事だと叫ばれているが、それと同じくらい「相手のことを理解する力」が必要である。本書の中には目から鱗の諸外国の人々の考え方が多々掲載されている。知っておくことは宝物になるはずである。一読をお勧めする。

大岡山図書館 81F-一般図書 336.49/M



〈原著〉

The culture map : decoding how people think, lead, and get things done across cultures / Erin Meyer  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：洋書 361.6/M

1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

山岸俊男

『心でっかちな日本人——集団主義文化という幻想』（ちくま文庫）



社会心理学者である著者が、自身の専門領域のみならず、経済学、認知科学、文化人類学といった幅広い学問領域の知見も援用しつつ、「日本人は集団主義的である」「いじめがなくなるのは心の問題」といった通説を、実験結果によって次々と覆していく。学問は、世界の見え方を変える力を持っていることを体感してほしい。

大岡山図書館 81F-一般図書 361.42/Y

すずかけ台図書館 2F-一般図書 361.42/Y

## 1 学んで、知って、考える——「教養」って何？

ビル・レディングズ

『廃墟のなかの大学』青木健、斎藤信平訳（法政大学出版局）



近代の大学とは、フンボルトがベルリン大学において創始したものであり、西洋では第二次大戦後の高等教育の拡大に際してもなお貢献したドイツ型モデルである。しかし近代における国民国家の成立に大いに役立った大学という組織は、その創設の使命が今日になってもはや無効となり、すなわち近代の大学モデルが黄昏時を迎えたという。1996年に刊行されたこのレディングズの遺作は、現代大学論の代表作として、文化の観点から「大学の理念」について分析している。大学という現代社会においていかにも普通な存在である場所に通う、働く、関わるすべての人々に、ぜひ読んでいただきたい一冊である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 377/R

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

石牟礼道子

『苦海浄土』（講談社文庫など）



文学のあらゆるジャンルを総括してもなお、現代日本屈指の作品である。水俣病に苦しむ人々の姿を描き出したこの作品を、どんなおもいで書き続けたのか、と石牟礼さんに聞いたことがある。詩のつもりで書いたと語ったあと、彼女はこう言った。「闘いのつもり。一人で闘うつもりでした。」人は、独りでも大きな何かを戦い得ることを示した人生の書。

大岡山図書館 B1F-一般図書 908/Se/28（世界文学全集）

大岡山図書館 B1F-一般図書 916/I（講談社、講談社文庫）

大岡山図書館 B1F-一般図書 918.68/I/2, 918.68/I/3（石牟礼道子全集）

すずかけ台図書館 2F-一般図書 493.152/I

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

カズオ・イシグロ

『日の名残り』土屋政雄訳（ハヤカワepi文庫）



イシグロは、5歳のときに長崎からイギリスへ移住した日系英国人。2017年、ノーベル文学賞を受賞した。本作は、イギリスの貴族の屋敷に仕えるきまじめな執事を主人公とする物語。いつけん過剰なまでに英国的な小説に思えるものの、イシグロはむしろこうした見方を否定する。現代における作家の越境について、あるいは物語の普遍性について、思いを巡らせてみるのもよいだろう。記憶のなかの日本を描く作品群もおすすめ。

大岡山図書館 B1F-一般図書 933/I（中央公論社）

大岡山図書館 B1F-一般図書 933.7/I（ハヤカワepi文庫）

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 933.7/I（ハヤカワepi文庫）



〈関連図書〉

The remains of the day / Kazuo Ishiguro

大岡山図書館 B1F-一般図書 933.7/I

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：洋書 933.7/I

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

井上勲

『王政復古——慶応三年十二月九日の政変』（中公新書）



幕末維新期は小説やドラマ、漫画、アニメなどで親しむ人が多いと思うが、そのような創作物などよりも、リアルな歴史叙述の方が圧倒的にスリリングで面白い。本書は、現在の研究水準では議論の余地がある部分もあるが、主権的な「決断」ができる政治主体が求められ形成される過程や、政治主体の想像力が段々と過去に遡及していく＝根本的変革の余地が広がっていく過程の描写など、切れ味鋭い行論は今なお色褪せていない。徳川慶喜、松平慶永、大久保利通など、よく知られた政治アクターの角逐と決断とを追体験することで、知的興奮とともに幕末維新期を駆け抜けることができる快作である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 210.61/I

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

上田紀行

『人間らしさ——文明、宗教、科学から考える』（角川新書）



この本は東工大と慶應大学の合同ゼミで2年連続して慶應の女子学生から「東工大生は人間味がない」「こんなに人間に興味がない人たちとは驚いた」と指摘されたというイタい話から始まっている。東工大生は他の人たちからどのように見られがちなのか。ぜひその部分だけでも読んでほしい。しかしいったい「人間らしさ」とは何だろうか。この本では生殖医学などの先端科学、現代社会のシステム化、そして宗教にも触れながら論じられていくが、それを読みながら私たちは人間なのに「人間らしさ」について真正面から考えてこなかったことに気づかされるだろう。そして最後には皆さんがこれから体験していく東工大の新しいリベラルアーツ教育のねらいと展望にも触れられている。

大岡山図書館 B1F-一般図書 114/U  
大岡山図書館 B1F-「先生の本」文庫 114/U  
すずかけ台図書館 2F-「先生の本」文庫 114/U

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

ダニエル・カーネマン

『ファスト&スロー あなたの意思はどのように決まるか？』

村井章子訳（早川書房）



2002年にノーベル経済学賞を受賞した心理学者カーネマンの著書である。本書では、私たちの意思決定過程に係わる様々な心理的要因が取り上げられており、いかに私たちが無意識的な心理プロセスに気づいていないかを気づかせてくれる。多くの実験内容が具体的に例示されているので、体験を通じて、「人間」について新たな視点をもつ機会を提供してくれる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 141.5/Ka/1, 141.5/Ka/2  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 141.5/Ka/1, 141.5/Ka/2



〈原著〉  
Thinking, fast and slow / Daniel Kahneman  
大岡山図書館 B1F-一般図書 141.5/Ka  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：洋書 141.5/Ka

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

フランツ・カフカ

『変身』高橋義孝訳（新潮文庫）



カフカは日本では名前だけがやたらと有名になってしまったが、じっさいにこの作品を先入観抜きに読めば、不条理だとか、悪夢的だとか、ユダヤ人の悲劇、アウシュビッツを予見したなどという定説がいかにも的外れであるかを知ることになる。「変身」に限らずカフカの作品は、躍動感と生への肯定、笑いに満ち満ちている。

大岡山図書館 B1F-一般図書 943/Ka（ドイツの名作）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 943.7/Ka（新潮文庫）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 948/Ka/1（カフカ全集）  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Ie/438（岩波文庫）  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Kod/Ka（光文社古典新訳文庫）  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 081/H/152（白水Uブックス）  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 943.7/Ka（新潮文庫）  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫:文庫・新書 943.7/Ka（光文社古典新訳文庫）  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 943.7/Ka（新潮文庫）



〈電子ブック〉  
Die Verwandlung / Franz Kafka  
全文 PDF のダウンロード等にはアカウントの作成が必要です。  
<https://ebookcentral.proquest.com/lib/tokyotech/detail.action?docID=5406846>



〈原著〉  
Die Verwandlung / Franz Kafka  
大岡山図書館 B1F-一般図書 943.7/Ka

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

塩野七生

『すべての道はローマに通ず——ローマ人の物語X』（新潮文庫）



1992年から2006年までかけて刊行された連作のうちの一冊である。シリーズの他の巻とは異なる構成を採用し、街道、水道、医療、教育といったインフラストラクチャーをとりあげてローマ人というあり方を通観する。文庫版『ローマ人の物語』では<27>と<28>が該当するほか電子書籍としても入手できる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 232/Si/1, 232/Si/2（新潮文庫）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 232/Si/10（ローマ人の物語）  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 232/Si/1, 232/Si/2（新潮文庫）  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫:和書 232/Si/10（ローマ人の物語）

2 歴史と人物——「人間」って何？

高橋治

『絢爛たる影絵 小津安二郎』（岩波現代文庫）



小説家として名を成した著者だが、大学卒業後は映画監督を志し、小津安二郎監督の『東京物語』の助監督を務めてもいる。表題作は彼の目から見た小津監督の評伝。併録の「幻のシンガポール」もぜひ読んでほしい。国家の要請と芸術家の良心とのせめぎ合いがリアルに描かれている。

大岡山図書館 81F-一般図書 778.21/Ta  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 778.21/Ta

2 歴史と人物——「人間」って何？

アントニオ・タブッキ

『供述によるとペレイラは…』須賀敦子訳（白水Uブックス）



この作品の舞台はファシスト戦時下のポルトガル。主人公は冴えない新聞記者のペレイラである。供述として綴られる彼の物語では、表現の自由と抑圧的な社会とのはざままで現実から逃避するように日々筆を走らせているこの人物が、若者たちとの出会いによって静かな抵抗に目覚める過程が、ときに幻想的な世界観とともに描かれている。政治的に重い主題を扱いながらも、どこか軽快なタブッキの筆遣いは、エーコやカルヴィーノと並んで、現代イタリア文学の代名詞にふさわしい。タブッキが気に入った人には、アルゼンチンの巨匠のコルタサルやボルヘスもおすすめ。

大岡山図書館 81F-一般図書 973/Ta  
大岡山図書館 81F-文庫・新書 081/H/134  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 973/Ta



〈原著〉  
Pereira maintains : a testimony / Antonio Tabucchi ; translated by Patrick Creagh  
大岡山図書館 81F-一般図書 973/Ta

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

砺波 護

『馮道——乱世の宰相』（中公文庫）

中国で初めて中央集権体制が確立し、それ以降は諸国家の分裂や王朝の目まぐるしい変遷が絶無となったのは、10世紀は宋（北宋）の成立によるものである。その直前に中国史上で最もマイナーと言われる五代十国時代という変革期があった。その時代に五朝八姓十一君に仕え、文人として剛直、官吏として柔軟という矛盾を貫くことで生き抜いた政治家の評伝である。中国の歴史には西洋の中世に相当するものが存在せず、乱世にあってこそマイナーだが超越的な人間像（曹操、苻堅、そしてこの馮道）を通じ、時折、近代性の幻影が垣間見られる、その深い理由を考えさせる好著である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 289.2/To ※6月中旬から貸出可能です

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

G. H. ハーディ、C. P. スノー

『ある数学者の生涯と弁明』柳生孝昭訳  
(シュプリング-数学クラブ、丸善出版)



20世紀を代表する数学者ハーディは、同じく数学者のリトルウッドとともに、数学的な業績を多数生み出したことで知られている。また、インドにいたラマヌジャンの才能を見出したことでも有名であり、映画にもなっている。この本は、無神論者であったハーディの数学に対する認識が述べられている他、スノーによるハーディとの思い出も収録されており、数学を通して、純粋な学問に対する彼らの哲学を教えてくれる一冊である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 410.4/H



〈原著〉  
A Mathematician's apology / G. H. Hardy; with a foreword by C. P. Snow  
大岡山図書館 B1F-一般図書 410.4/H

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

リチャード・P・ファインマン

『ご冗談でしょう、ファインマンさん（上）』（岩波書店）

Feynman, Richard P. Surely You're Joking, Mr. Feynman:

Adventures of a Curious Character. W. W. Norton & Company, 1985.



ノーベル賞受賞物理学者の自伝。読みやすく笑える。ラジオの組み立て、いんげん豆の切り方、ダンス、眠りと夢、化学マジック、虫、読唇術など何にでも興味を持ち、いたずら好きのファインマン。上巻は彼の子ども時代、大学生・大学院生時代、若手研究者時代。ロスアラモスで原子爆弾の開発に関わったことについても。人の好奇心はどのように働くのかが生き生きと描かれる。もし興味を惹かれたらぜひ下巻も読んでみてほしい。下巻ではブラジルでの在外研究中にサンバに興味を持ち、バンドのメンバーになってしまう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 420.28/F/1 (岩波現代文庫, 岩波書店)

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫:文庫・新書 289.3/F/1 (岩波現代文庫)



〈原著〉

"Surely you're joking, Mr. Feynman!": adventures of a curious character / Richard P. Feynman ; as told to Ralph Leighton ; edited by Edward Hutchings

大岡山図書館 B1F-一般図書 420.28/F

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫:洋書 420.2/F

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

藤原辰史

『稲の大東亜共栄圏——帝国日本の〈緑の革命〉』（吉川弘文館）



近年技術革新が目覚ましい遺伝子組み換え産業。だがそれと並行して種子の市場での多国籍大企業による市場独占も進んでいる。遺伝子組み換えに伴う諸問題は、これまでの品種改良の問題と切り離せないことを著者は説得的に論じている。食物連鎖を支配することは、人を支配することでもある。『ナチス・ドイツの有機農業』の著者が、20世紀初頭の日本の植民地政策と稲の品種改良の歴史との関係に鋭く切り込んだ好著。

大岡山図書館 B1F-一般図書 612.2/H

すずかけ台図書館 2F-一般図書 612.2/H

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

ヴィクトール・E・フランクル

『夜と霧』池田香代子訳（みすず書房）



重いテーマですが、読んだ人は一生忘れないでしょう。強制収容所記というより、「人間」そのものを考えさせる哲学的な書という点で、「教養」の名にふさわしい本だと思います。〈わたしたちは、おそらくこれまでのどの時代の人間も知らなかった「人間」を知った。では、この人間とはなにか。人間とは、なにかをつねに決定する存在だ。人間とは、ガス室を発明した存在だ。しかし同時に、ガス室に入っても毅然として祈りのことばを口にしている存在でもあるのだ〉

大岡山図書館 81F-一般図書 146.8/F/1（フランクル著作集）

大岡山図書館 81F-一般図書 946/F

大岡山図書館 81F-リベラルアーツ資料 946/F

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 946/F

すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 946/F



〈電子ブック〉

Man's search for meaning / Viktor E. Frankl ; foreword by John Boyne ; afterword by William J. Winslade  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=1282262&lang=ja&site=ehost-live>

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

ウィリアム・H・マクニール

『疫病と世界史』上・下巻、佐々木昭夫訳（中公文庫）



歴史を動かす究極的な力（要因）は何なのか。神の摂理？ 超越的な人間の能力？ 技術力の発展に伴う経済構造の変化？ 単なる偶然と運がすべて？ それとも複合的原因による多重的決定？ いやいや、それを前には免疫を持たぬ人間など全く無力な、未知の（あるいは既に抑止できたとされていた）感染症・疫病！の力を忘れてはならない。中世の黒死病（ペスト）がなかったら、我々は現在、我々の知る世界とは全く違った世界を眼にしていたであろう。ホーキングが敢えて「絶対に人類は未知との遭遇をしてはならない」という理由もそこにある。我々の運命は、愚か者の手中などではなく、知られざるウィルスに握られているのかもしれない。同時に「同じ意味で」ジョン・W・キャンベルの『影が行く』も必読書である。

大岡山図書館 81F-一般図書 493.8/M/1, 493.8/M/2

すずかけ台図書館 2F-一般図書 493.8/M/1, 493.8/M/2



〈原著〉

Plagues and peoples / William H. McNeill  
大岡山図書館 81F-一般図書 493.8/M

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

御厨貴

『近現代日本を史料で読む  
——「大久保利通日記」から「富田メモ」まで』（中公新書）



死んだ人が書き残した日記や文書を読むことの何が面白いのか、これだから歴史は無味乾燥で退屈だ、などと思われがちだが、死んだ人が書き残した日記や文書を読むことよりも面白いことは、遠方から来た友人と談論風発することくらいしかない。近代日本の政治アクターが残した日記史料を紹介しつつ、そこから見通せる事実と当該人物の個性とを、第一線の研究者たちが自在に論じたのが本書である。廃娼論を唱えながら日々娼婦を抱く「植木枝盛日記」、庭いじりをしながらいじらしく政治いじりを試みる「伊東巳代治日記」など、史料から浮かび上がる個性豊かな人物により日本政治史は彩られている。

大岡山図書館 81F-一般図書 210.6/M

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

三好信浩

『手島精一 渋沢栄一が敬愛した日本の名校長』（青簡舎）



大岡山キャンパスにおいて唯一（それも100年以上前から）銅像が飾られている人物、手島精一とは何者だろうか。手島の人生は困難の連続だった。下級士族出身で明治維新を経験し、アメリカ留学を困窮により中断して「空しく志を擁いて帰朝」し、実業教育のために作った製作学教場は廃止された。それでも、頭と手が融合したよき技術者を育てるという彼の夢は、東京職工学校（現・東京科学大学）という形で実を結んだ。自分の志について考える際に、先人の志を読んでみてはどうだろうか。

大岡山図書館 81F-一般図書 507.7/M  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 507.7/M

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

ジョン・スチュアート・ミル

『自由論』 斉藤悦則訳（光文社古典新訳文庫）



学生の時、中央公論社の「世界の名著」シリーズで読んだのですが、こちらは少し入手しにくいようです。岩波文庫からも出ていますが、読みやすさの観点から、光文社古典新訳文庫版を推薦します。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 133.4/M

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Koc/M

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 133.4/M

すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 133.4/M



〈原著〉

On liberty / by John Stuart Mill

大岡山図書館 B1F- 集密：一般図書 Y004611



〈関連図書〉

自由論 / J.S. ミル著；塩尻公明，木村健康訳（岩波文庫）

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Id/116

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 133.4/M



〈関連図書〉

ペンサム；J.S. ミル / 関嘉彦責任編集（世界の名著）

大岡山図書館 B1F- 一般図書 080/Se/138

## 2 歴史と人物——「人間」って何？

スタンレー・ミルグラム

『服従の心理』(Obedience to Authority: An Experimental View)

山形浩生訳（河出文庫）



「服従の本質というのは、人が自分を別の人間の願望実行の道具として考えるようになり、従って自分の行動に責任をとらなくていいと考えるようになる点である」（序文より）。本書は、1960年からスタンレー・ミルグラム博士によって3年間に渡って実施された、服従に関する心理実験、通称「アイヒマン実験」の報告書である。人は誰であっても、特定の役割を与えられ、観察者による指示を受け、その行為に理由付けがなされた場合、際限なく残酷に他者を処罰するようになってしまっているのではないか。記憶テストで単純なミスをした者に電撃を加えるようにと言われた被験者は、いとも簡単に指示に従ってしまう。この本と同時に、ミルグラム博士の半生を描いた『アイヒマンの後継者 ミルグラム博士の恐るべき告発』(The Experimenter, 2015)も薦めたい。博士の服従実験の様子と彼の考察が、豊かな映画的表現とともに生き生きと活写されている。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 361.43/M

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 361.43/M



〈原著〉

Obedience to authority : an experimental view / Stanley Milgram

大岡山図書館 B1F- 一般図書 361.43/M

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

池上彰、上田紀行、中島岳志、弓山達也  
『平成論「生きづらさ」の30年を考える』（NHK出版新書）



皆さんは自分が生まれ、育ってきた「平成」という時代がどんな時代か知っていますか？人間は社会によって作られるとすれば、自分がどこまで時代の影響を受けているのかを知ることは必須でしょう。この本では「生きづらさ」をキーワードに平成という時代を読み解いています。「昭和」の影響下で育った皆さんのご両親や先生達との違いを知るヒントにもなることでしょう。東工大リベラルアーツ研究教育院の4人の教員の共著ということで、1冊で4人の視点を知ることができるお得な本でもあります。

大岡山図書館 81F-「先生の本」文庫 210.77/H  
すずかけ台図書館 2F-「先生の本」文庫 210.77/H

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

宇沢弘文  
『自動車の社会的費用』（岩波新書）



現代社会に不可欠な自動車の普及がもたらす問題について経済学的、法政策的な議論を知ることができる。

大岡山図書館 81F-一般図書 685.1/U  
大岡山図書館 81F-文庫・新書 081/1b/890  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 685.1/U

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

宇野弘蔵

『経済原論』（岩波書店）



大学生のうちに『資本論』くらい読んでおきたいけれど、長すぎてしんどい……という人へ。『資本論』の解説書はたくさんありますが、そうやって大雑把に内容を把握して「読んだ」というアリバイを作るだけで、本当にいいですか？ 自分の頭で理解し、真の意味で「読んだ」と言えるためには、どうい「読み」が必要なのか、本書を読んで考えてみてください。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 331/U (岩波文庫)

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Id/151 (岩波文庫)

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 331/U (岩波全書)

すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 331/U (岩波全書)

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

江原慶

『資本主義はなぜ限界なのか—脱成長の経済学』（ちくま新書）



成長を前提とする従来の経済学を問い直す本書は、人口減少・資源の枯渇・気候変動など現代資本主義が抱える構造的な問題をふまえ、恒久的経済成長がなぜ限界を迎えるのかを、マルクス経済学と現実の社会経済の視座から鋭く明らかにしている。2025年のノーベル経済学賞が「技術革新と経済成長の関係性」に光をあてたように、確かにイノベーションは重要である。しかし本書は、その成長の全てが必ずしも持続可能でもなければ、また万人に（結果的に）幸せをもたらすとは限らないことを教えてくれる。「成長=善」という先入観を越えて、社会の仕組みを問い直すきっかけになる一冊。

すずかけ台図書館 2F- 「先生の本」文庫 331.6/E

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

緒方正人

『チツソは私であった——水俣病の思想』（河出文庫）



水俣病を知るために、石牟礼道子『苦海浄土』と原田正純『水俣病』と併せて、読まれるべき名著。自身が水俣病の患者であり、水俣病患者認定運動の最前線で闘った著者が語る「チツソは私である」という言葉の重みをじっくり味わってもらいたい。現代の社会が抱える病巣が見えてくるはずだ。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 493.152/0

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

北村英哉、唐沢譲 編

『偏見や差別はなぜ起こる？』（ちとせプレス）



社会心理学の知見から偏見や差別が生じるメカニズムについて解説しています。また、それが人種、民族、障害、ジェンダーなどの集団・社会カテゴリーのなかでどのような問題になっているのか、例題をもって示しています。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 361.4/Ki  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 361.4/Ki

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

後藤健二

『ダイヤモンドより平和がほしい——子ども兵士ムリアの告白』  
(汐文社)



小中学生でも読めるような平易な文章、大きな文字で書かれていて、だれにでも分かるように丁寧に書く・伝えるということの大切さに気づかされます。意に反して子ども兵にされた少年との対話を通して、そして子ども兵の被害に遭った人々の記憶を通して、忘れることができない記憶に向き合う姿が胸に迫ります。世界の現状について考えるきっかけに。

大岡山図書館 B1F-一般図書 319.8/G  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 319.8/G

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

小林多喜二『蟹工船 1928・3・15』（岩波書店）



「現代版『蟹工船』」という言い回しは、人口に膾炙（かいしゃ）している。本書で描かれる「蟹工船」の状況は悲惨かつ壮絶である。不衛生な環境下、虫けら同様の扱いを受ける漁夫や雑夫は、ただ内地の資本家のために働く。過重労働と栄養不足で身体を壊し、起こるべくして起こる事故と「しごき」に命を奪われながら。

階級の問題と、帝国主義・国内植民地の問題を鋭く描き出す本書は、翻って、安直かつ一面的な過去の礼賛にストップをかけてくれる。同時に、今なお存在する格差と搾取の構造に目を向けさせてくれる点に、本書の魅力があり参照される理由がある。最後に描かれる弱者たちの連帯に対して、あなたはどのような立場をとるか。

大岡山図書館 B1F-一般図書 913.6/Ko (岩波文庫)  
大岡山図書館 B1F-一般図書 918/N/s1 (日本文学全集カラー版)  
大岡山図書館 B1F-一般図書 918.6/N/I17 (日本文学全集)  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Ic/88 (岩波文庫)  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 913.6/Ko (新潮文庫)  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 913.6/Ko (岩波文庫)  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/Ko (新潮文庫)  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 913.6/Ko (新潮文庫)



〈電子ブック〉

The crab cannery ship : and other novels of struggle / Kobayashi Takiji ; translated by Željko Cipriš ; with an introduction by Komori Yōichi  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=750836&lang=ja&site=ehost-live>

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

斎藤幸平

『人新世の「資本論」』（集英社新書）



各国で相次ぐ大雨、山火事、夏場の酷暑に代表される異常気象は、世界が存亡の危機に瀕していることを示しています。この状況下、環境問題に少しでも関心をもつ人にとって必読の書が本書です。著者は、晩期カール・マルクスの思想を紐解きつつ、資本主義体制が続く限り環境問題が解決することはないということを論じます。そして代替案としての「脱成長コミュニズム」を提唱します。「経済成長が、人類の繁栄の基盤を切り崩しつつある」や「SDGs は（中略）『現代版大衆のアヘン』である」といった、本書でなされる刺激的・扇動的な言明を前にして、あなたは、社会の一員としてどのような立場を取るべきかという問いを突きつけられるでしょう。科学の力を信じ、将来、科学・医療の分野で社会を牽引するであろう東京科学大学生にこそ、読んでいただきたい作品です。

すずかけ台図書館 1F- ベリパトス文庫：文庫・新書 331.6/Sa

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

田尻宗昭記念基金

『なにやっぺんだ行動しよう』（アットワークス）



法制度の枠組みを最大限活用して四日市公書の摘発に尽力した田尻宗昭氏。その記念基金を受賞した様々な市民活動が有名な公共訴訟の基にあることを知ることができる。

大岡山図書館 81F- 一般図書 519/Ta

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 519/Ta

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

チヨ・ナムジュ

『82 年生まれ、キム・ジヨン』 斎藤真理子訳（筑摩書房）



ベストセラーになった韓国のフェミニズム小説で、日本にも通じるジェンダー課題を面白いストーリーで読ませる内容です。

大岡山図書館 B1F-一般図書 929.1/C

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 929.1/C

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

ノーム・チョムスキー

『メディア・コントロール——正義なき民主主義と国際社会』

鈴木主税訳（集英社新書）



2003年に出版された本ですが、その主張は今でも古びていません。著者は、生成文法理論を提唱する言語学者。本書を読んで、与えられた情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考えることの大切さについて考えてみてください。

大岡山図書館 B1F-一般図書 361.4/C

すずかけ台図書館 2F-一般図書 361.4/C



〈原著〉

Media control : the spectacular achievements of propaganda / Noam Chomsky  
大岡山図書館 B1F-一般図書 361.453/C

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

長谷部恭男

『Interactive憲法 続』（有斐閣）



高名な憲法学者による憲法の理念のエッセンスを多角的に取り上げ、人権の保障、法の支配の重要性を知ることができる。

大岡山図書館 81F-一般図書 323.14/H/2  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 323.14/H/2



〈電子ブック〉  
Interactive 憲法 / 長谷部恭男著  
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000007991>

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

秦正樹

『陰謀論——民主主義を揺るがすメカニズム』（中公新書）



現代の国内・国際政治を語る上で、陰謀論は外すことができないトピックとなっている。科学大生も陰謀論と無縁ではなく、それどころかガッツリ信じている学生も多い。本書では、元ネット右翼の政治学研究者が、統計的手法を用いて陰謀論を分析し、その問題と対処法とを議論している。保守・リベラル双方に陰謀論が見られることや、政治に興味を持つ人ほどむしろ陰謀論を信じやすくなっていることなど、目から鱗の指摘も数多い。将来的に医歯理工系のエリートとして一定の社会的責任を果たす上でも、ある種のワクチンとして読んでおいてほしい一冊である。

大岡山図書館 81F-一般図書 361.45/H

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

原田正純

『水俣病』（岩波新書）



社会に大きな影響を与えた公害病である水俣病についてその原因追究の過程、企業の利潤追求や行政の姿勢、患者のおかれた立場などについて患者の側にたって水俣病を告発していた医師が記したもの

大岡山図書館 B1F-一般図書 493.152/H  
大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 081/Ib/841  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 493.152/H

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

キャロライン・クリアド・ペレス

『存在しない女たち—

男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く』

神崎朗子訳（河出書房新社）



多様性、ジェンダーバランスという言葉は聞き飽きた、自分はマイノリティーを尊重する精神を十分にもっていると感じる人もいるかもしれない。しかし、日常生活や職場、都市計画、医療、社会政策において、男性を基準として物事が構築され、社会が動いていることを、本書は数多くのデータを基に明らかにしている。多くの差別は悪意によるものではなく、認識の欠如によって生じている。私たち一人ひとりが世界の状況に目を向け、具体的な変化を起こしていく必要があることに気づかせてくれる書籍である。

大岡山図書館 B1F-一般図書 367/C  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 367/C



〈原著〉

Invisible women : exposing data bias in a world designed for men / Caroline Criado Perez

大岡山図書館 B1F- 一般図書 367/C

すずかけ台図書館 1F- ベリパトス文庫：洋書 367/C

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

牧野淳一郎

『原発事故と科学的方法』（岩波書店）



福島第一原子力発電所の事故直後から公式情報にも混乱がある中、事故の規模や放射性物質の状況を高い精度で見通し、情報発信を行う科学者が東工大にいた。原発や放射性物質の専門家ではない彼が高校生にも理解可能な科学知識を用いて、どのようにそれを成し遂げたかの記録であり、改めて原発の問題を振り返るきっかけとなる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 408/I/216  
大岡山図書館 B1F-一般図書 543.5/M  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 543.5/M

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

宮口幸治

『ケーキの切れない非行少年たち』（新潮新書）



世の中には、様々な人が存在しています。本書は、非行少年の背景となる境界知能、発達障害傾向のある人に焦点を当てています。その人たちは社会生活、学校生活など様々な場面で困り感を抱えているものの、自身もなぜ困っているのかが認識できていません。このような人たちがどのようなことに困っているのか、周囲にいる者としてどう接していくことが必要であるのかを解説しています。共生社会を作るための一助になる本です。

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 368.7/M/1

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

山浦善樹

『お気の毒な弁護士』（弘文堂）



元最高裁判事の半生を法学者がインタビューして書籍にまとめたものです。マチ弁（街の弁護士）と呼ばれる、民事事件を扱い、庶民の悩みに対応する職務に従事する方の視点。

大岡山図書館 81F-一般図書 327.14/Y

すずかけ台図書館 2F-一般図書 327.14/Y

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

ムハマド・ユヌス

『貧困のない世界を創る——ソーシャル・ビジネスと新しい資本主義』

猪熊弘子訳（早川書房）

Muhammad Yunus with Karl Weber, *Creating a World without Poverty: Social Business and the Future of Capitalism*, New York, Public Affairs, 2007.



著者は2006年にノーベル平和賞を受賞した。彼が創立したグラミン銀行は貧困層を対象にグループ単位でお金を貸している。そのおかげで起業して会社を大きくすることもでき、子供を学校に通わせられるようになり、彼らは貧困を抜け出すことができる。社会に良い企業とは何か、成功の意味を広げる経済学者のベストセラー。

大岡山図書館 81F-一般図書 335.8/Y

すずかけ台図書館 2F-一般図書 335.8/Y



〈電子ブック〉

Creating a world without poverty : social business and the future of capitalism / Muhammad Yunus with Karl Weber  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=461943&lang=ja&site=ehost-live>



〈原著〉

Creating a world without poverty : social business and the future of capitalism / Muhammad Yunus with Karl Weber  
すずかけ台図書館 1F-パブリック文庫：洋書 335.1/Y

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

スティーブン・レビット、ステファン・ダブナー  
『ヤバい経済学』望月衛訳（東洋経済新報社）



計量経済学者スティーブン・レビットが解き明かす社会の裏側は、とても刺激的だ。アメリカの犯罪を減らしたのは、警察の戦略ではなく意外な政策だった。学校の先生はズルをする、日本の力士と同じように。データが明らかにするのは反直感的な事実だ。

大岡山図書館 B1F-一般図書 331.04/L  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 331.04/L



〈原著〉  
Freakonomics : a rogue economist explores the hidden side of everything / Steven D. Levitt and Stephen J. Dubner  
大岡山図書館 B1F-一般図書 331.04/L

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

Matthias Schmelzer, Andrea Vetter, Aaron Vansintjan,  
The Future is Degrowth: A Guide to a World Beyond Capitalism.  
Verso, 2022.



If you're seeking a powerful, clear-eyed rethinking of our economic future, *The Future Is Degrowth* by Matthias Schmelzer, Aaron Vansintjan, and Andrea Vetter is a must-read. The authors argue that the dominant model of endless economic growth is failing both people and planet, showing how it grew out of colonialism and fossil-industrial capitalism. They then offer a compelling alternative: a society rooted not in expansion, but in ecological balance, social justice, and democratic control of the economy. The book offers both rigorous analysis and practical ideas for change ? from "now-topias" of local experimentation to policy frameworks that democratize production and consumption. If you're interested in environmental activism, social transformation, or simply want a deeper understanding of how we might build a more humane world, this book presents both the why and the how of degrowth in a readable, forceful format.

電子ブックのみ所蔵



〈電子ブック〉  
The future is degrowth : a guide to a world beyond capitalism / Matthias Schmelzer, Andrea Vetter, Aaron Vansintjan  
全文 PDF のダウンロード等にはアカウントの作成が必要です。  
<https://ebookcentral.proquest.com/lib/tokyotech/detail.action?docID=7012344>

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

Özlem Sensoy, Robin DiAngelo,  
Is Everyone Really Equal? An Introduction to Key Concepts in  
Social Justice Education.  
Teachers College Press, Columbia University, 2012.



Özlem Sensoy and Robin DiAngelo expertly guide readers through core concepts in social justice (e.g. prejudice, discrimination, power, privilege, and systemic oppression) in relation to education but also in connection to society writ large. Even better, these concepts are presented in ways that readers can immediately begin applying them to realize social justice for themselves. The authors' use of vignettes, definition boxes, and discussion questions makes the material engaging and more easily applicable. Following in a critical tradition, the book teaches readers how to both recognize injustice, as well as how we are all located in systems of power. With chapters on intersectionality, colonialism, and current social movements, this book is theoretically grounded and timely. If you care about building more inclusive communities, this book doesn't just explain the problem—it helps you learn how to engage with it.

すずかけ台図書館 2F-一般図書 371.3/Se

3 世界を知る、社会を変える——「現代」って何？

Yousafzai, Malala, I Am Malala:  
The Girl Who Stood Up for Education and Was Shot by the Taliban.  
Co-written by Christina Lamb. New York: Little, Brown, 2013



An inspirational autobiography by a brave young girl from the Swat Valley of Pakistan, raised by a loving mother and a father who instilled in her a love for learning, with a clear message: Give girls an education. Malala's outspokenness and her BBC blog nearly cost her life—shot in the head by a Taliban on her way home from school. Yet, her survival gives us hope as we see nations unite, providing her with medical treatment and a more prominent and audible platform at The United Nations for her activities. Malala, the youngest Nobel Peace Prize winner, shows us how one individual can change the world by becoming a voice for those who cannot speak.

大岡山図書館 81F-一般図書 289.2/Y  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：洋書 289.2/Y



〈関連図書〉  
わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女 / マララ・ユスフザイ, クリスティーナ・ラム著 ; 金原瑞人, 西田佳子訳  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 289.2/Y

4 自然と技術——「科学」って何？

キット・イエーツ

『生と死を分ける数学

——人生の（ほぼ）すべてに数学が関係するわけ』

富永星訳（草思社）



イギリスのサリー・クラークという女性は、2人続けて我が子を生後数週間で突然死で亡くしてしまうが、なんとその殺人罪で3年間収監され、わずか42歳の若さで亡くなった。この事件を聞いて、昔々の事件だと感じるだろうか？実はこの事件が起きたのはわずか25年前のことである。検察側の主張では、突然死に赤ちゃんがかかる確率は1/8543であるから、2人続けて突然死で子供が亡くなる可能性は1/8543の2乗である。よってこの突然死は自然にはほぼあり得ないことであり、サリーの連続殺人を主張し、有罪が決定した。ここで何かおかしな点に気づくだろうか？我が子2人は突然死で亡くなる事象は独立だろうか？皆が何らかの数字を利用して問題を解決する仕事に就き、社会を動かしていくこの時代。数字が社会に与える影響力を実感し、これからの人生に数学を役立てていく上での必読の一冊として、本書を推薦する。

大岡山図書館 81F-一般図書 410/Y

4 自然と技術——「科学」って何？

稲垣栄洋

『はずれ者が進化をつくる——生き物をめぐる個性の秘密』

（ちくまプリマー新書）



本書では、個性や多様性について生物学の見地から分かりやすく説明しています。「弱い」ことは成功の条件であるかのようにだと著者は述べます。もし、あなたが「弱さ」に関心があれば、本が好きな人もそうでない人も最後まで本書を楽しく読めるはずです。

大岡山図書館 81F-一般図書 467.5/I

すずかけ台図書館 2F-一般図書 467.5/I

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 467.5/I

#### 4 自然と技術——「科学」って何？

宇沢弘文

『自動車の社会的費用』（岩波新書）



自動車を使用することは、たんに「私的な資源の利用」（自動車購入費、ガソリン代）ではなく、必ず道路という社会的資源の使用にもかかわることだ。それはより広くは都市環境の問題にも直結する。自動車が歩行者の権利を侵害しているという視点から、自動車運転を取り囲む経済構造とその諸問題を捉えた、日本を代表する数理経済学者による刺激的な論考。これとは別に、「自動車に乗る」経験が人間と風景との接し方を変えるという論点に興味がある方は、M. フェザーストン／N. スリフト／J. アーリー編著『自動車と移動の社会学』（近森高明訳、法政大学出版局）を参照のこと。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 685.1/U  
大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 081/Ib/890  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 685.1/U

#### 4 自然と技術——「科学」って何？

エイドリアン・オーウェン

『生存する意識——植物状態の患者と対話する』柴田裕之訳  
（みすず書房）



植物状態と診断され、意識がないはずの患者の中に、十分な知覚や認識能力がある人々がいる— fMRI を用いたマインド・リーディングの手法で、意識があるかないかの二分法では捉えきれない「グレイゾーン」があることを、本書の著者で神経科学者のオーウェンは明らかにした。脳と意識の奥深さに圧倒され、人間とは何だろうか、どう生きるべきかと考えさせられる。さらに、一人の研究者が家族や恋人とともに生き、目の前の患者やテクノロジーと格闘し、研究の使命に向かって走り続ける様子に勇気づけられる。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 493.73/0  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 493.73/0



〈電子ブック〉  
Into the grey zone : a neuroscientist explores the border between life and death / Adrian Owen  
全文 PDF のダウンロード等にはアカウントの作成が必要です。  
<https://ebookcentral.proquest.com/lib/tokyotech/detail.action?docID=30270865>



〈電子ブック〉  
生存する意識：植物状態の患者と対話する / エイドリアン・オーウェン [著]；柴田裕之訳  
<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokyotech/bookdetail/p/KP00027614>

4 自然と技術——「科学」って何？

レイチェル・カーソン

『潮風の下で』上遠恵子訳（ヤマケイ文庫）

『沈黙の春』（1962年）の著者レイチェル・カーソンの第一作です。カーソンは子どものころから作家志望で、大学で最初は文学部の学生でしたが、生物学に興味をもち、科学者を志し、専攻を変えたそうです。大学院で動物発生学を研究し、1936年にU.S. Bureau of Fisheriesに海洋生物学者として採用されています。海を題材にしたラジオ番組の台本の執筆、漁業局のパンフレットや報告書の作成が、海について新聞や雑誌を通して伝える記事、そして第一作の執筆につながっています。

大岡山図書館 B1F-一般図書 468.8/C ※6月中旬から貸出可能です



〈関連図書〉  
潮風の下で / レイチェル・カーソン著；上遠恵子訳（American nature library）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 460.4/C

4 自然と技術——「科学」って何？

トーマス・クーン

『科学革命の構造』中山茂訳（みすず書房）



パラダイムという概念を最初に提唱された本です。今までの科学における発明がどのようにパラダイムシフトしてきたかを理論的に説明している本です。

大岡山図書館 B1F-一般図書 402/Ku  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 402/Ku  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 402/Ku  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 402/Ku



〈原著〉  
The structure of scientific revolutions / by Thomas S. Kuhn  
大岡山図書館 B1F-一般図書 402/Ku

4 自然と技術——「科学」って何？

ルース・シュウォーツ・コーワン

『お母さんは忙しくなるばかり』高橋雄造訳（法政大学出版局）



科学技術は人々の生活をよくするためにある。技術者なら、誰でもそう考えているはずだ。だが、家事を軽減するはずの家電が、20世紀、実は家事労働を増やしてしまった。もう主婦の時代ではないかも知れないけれど、技術と人間を考えるのに本書は示唆に富んでいる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 590.2/C

すずかけ台図書館 2F-一般図書 590.2/C



〈原著〉

More work for mother : the ironies of household technology from the open hearth to the microwave / Ruth Schwartz Cowan  
大岡山図書館 B1F-一般図書 590.2/C

4 自然と技術——「科学」って何？

小島信夫

『アメリカン・スクール』（新潮文庫）



小説とは、作者の意図やメッセージを投影する媒体ではなく、それが書かれることによって、結果的に作者の意図などを遥かに超えた「得体の知れなさ」として表出される芸術である、というところをこの作品集は示している。江藤淳と保坂和志の解説の対比も読む価値あり。

大岡山図書館 B1F-一般図書 913.6/Ko

すずかけ台図書館 2F-一般図書 913.6/Ko



〈関連図書〉

小島信夫集 / 小島, 信夫 (1915-2006) (新潮日本文学)  
大岡山図書館 B1F-一般図書 918.6/Si/54



〈関連図書〉

小島信夫 ; 庄野潤三 ; 遠藤周作 ; 阿川弘之 / 小島信夫 [ほか] 著  
大岡山図書館 B1F-一般図書 918.6/Sy/21



〈関連図書〉

芥川賞全集  
大岡山図書館 B1F-一般図書 913.68/A/5  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 913.68/A/5

4 自然と技術——「科学」って何？

齋藤憲

『アルキメデス『方法』の謎を解く』（岩波科学ライブラリー）



アルキメデスは数学者か技術者か。謎に包まれた『方法』という著作を細解くことで、純粋に数学的な問題に機械学的な概念を持ち込んだアルキメデスの創意が明らかになる。ちなみに、『リーダーの教養書』等のブックガイドでは、同シリーズの『ユークリッド『原論』とは何か』が推薦されている。しかし、著者の齋藤憲氏曰く「東京科学大生に読んで欲しい最初の一冊は、技術についても学べるアルキメデスのほう！」とのこと。

大岡山図書館 B1F-一般図書 408/I/232  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 408/I/232

4 自然と技術——「科学」って何？

坂本 幸雄

『不本意な敗戦 エルピーダの戦い』（日本経済新聞出版社）



日立製作所、NEC、三菱電機のDRAM（メモリ）部門を統合したエルピーダが、どのように破綻への道を行んだのか？ 最終的に会社更生法を適用しながらも、社員をひとりも切らずに再生することができたのはなぜなのか？ 東工大生には、東芝メモリーの消滅や東芝本体の迷走が示すように、テクノロジーがいかにダイナミックでかつ壊れやすいものなのか、そして技術がいかに社会的な要因の影響をうけやすいものなのかを理解し、サバイバルのための「リベラルアーツ」の必要性を感じて欲しい。

すずかけ台図書館 2F-一般図書 548.232/Sa

4 自然と技術——「科学」って何？

柴田鉄治

『科学事件』（岩波新書）



臓器移植、薬害エイズ、クローン羊などの科学事件について、学会、行政、報道がどのように対応したかについて元新聞記者の立場から語られている。

すずかけ台図書館 2F-一般図書 404/Si

4 自然と技術——「科学」って何？

武谷三男

『安全性の考え方』（岩波新書）



健康に関連するいくつかの事例の顛末等が記載され安全について考える材料になると思う。事例については新しいものではないが、現在の社会においても形を変えて起こりうる問題である。

大岡山図書館 81F-一般図書 519/Ta

4 自然と技術——「科学」って何？

竹村公太郎

『日本史の謎は「地形」で解ける』（PHP文庫）



プラタモリで「地形」がブームとなっている今、この本を読まずにプラタモリは語れない。この本を読むと「地形」がどのように日本の歴史に影響を与えてきたのか、また本当に「公共工事は悪」なのかを考えさせられる。「まだ訪れたことのない街に行くときにグーグルマップよりも地形図を開きたくなる！」そんな一冊。同シリーズの【文明・文化篇】および【環境・民族篇】もお薦め。

大岡山図書館 B1F-一般図書 210/Ta/1  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 210/Ta

4 自然と技術——「科学」って何？

リチャード・ドーキンス

『利己的な遺伝子』日高敏隆、岸由二、羽田節子、垂水雄二訳  
(紀伊国屋書店)



英国王立協会の調査で「史上最も影響力のある科学書」1位に輝いたのが本書。医科歯科看護系、理工系どちらの学生たちにもぜひ読んでほしい。あまりにキャッチーなタイトルのせい(おかげ)で売れたけれど、誤読されまくっている本でもある。本書は、たとえばなぜ私たち人間や社会性生物の利他的、協力的な習性は生き残り続けているのか、というタイトルとは逆の疑問を解く本でもある。また、ドーキンスが示した「文化遺伝子=ミーム」という概念もぜひ知っておいてほしい。そして本書は、1つの図も1つの数式も使わずに、どれだけ複雑な科学を言葉だけで説明できるか、という困難に挑戦し、成功した科学啓蒙書でもある。学生の皆さんが将来本を書くときの大いなる参考になるはずだ。

大岡山図書館 B1F-一般図書 467.2/D  
大岡山図書館 B1F-一般図書 (増補新装版・初版) 467.2/D  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 (増補新装版) 467.2/D  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 (増補新装版) 467.2/D  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 (増補新装版・初版) 467.2/D



〈電子ブック〉  
利己的な遺伝子 / リチャード・ドーキンス [著] ; 日高敏隆 [ほか] 訳  
<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/science-tokyo/bookdetail/p/KP00018136>



〈原著〉  
The selfish gene / Richard Dawkins  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 467.2/D



〈原著〉  
The selfish gene / Richard Dawkins (30th anniversary ed)  
大岡山図書館 B1F-一般図書 467.2/D

4 自然と技術——「科学」って何？

中村桂子

『科学者が人間であること』（岩波新書）



生命科学・生命誌を専門とする著者が、東日本大震災以降、改めて問い直したこれからの科学と科学者としてのありよう。「人間は生きものであり、自然の中にある」という考えの基盤が、繰り返し語られる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 404/N

大岡山図書館 B1F-文庫・新書 081/Id/1440

すずかけ台図書館 2F-一般図書 081/Id/1440

4 自然と技術——「科学」って何？

中屋敷均

『科学と非科学—その正体を探る』（講談社現代新書）



帯紙だけを見ると大学受験生向けの本ではないかと誤解を招きそうですが、中身は明らかに大学生、一般向けの本です。現代社会における科学と非科学のはざまにフォーカスしているため、科学に関する専門的な知識がなくても、理解しやすいと思います。1話が10ページ程度で14の話から構成されていますので、読書があまり得意でない方でもすらすら読めることでしょう。

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 404/N

4 自然と技術——「科学」って何？

平野啓一郎  
『本心』（文藝春秋）



リアル・アバターとして働く主人公が、亡き母のヴァーチャル・フィギュアを作ってその本心を探ろうとする物語。テクノロジーと生死の問題を考えるための示唆に富んでいます。

大岡山図書館 81F-一般図書 913.6/H  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 913.6/H

4 自然と技術——「科学」って何？

藤森照信  
『フジモリ式建築入門』（ちくまプリマー新書）



著者は、その土地の自然に溶け込みながらもどこかユーモアを感じさせる建物で知られる建築家。本書は、実用的な「人の住まい」と、美や壮麗さを表現するための「神の住まい」の二つに建築を分け、竪穴式住居から現代のLDK住宅まで、人類の建物をめぐる営みを考察する。

大岡山図書館 81F-一般図書 520/H  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 520/H

4 自然と技術——「科学」って何？

藤田紘一郎

『残念な「オス」という生き物』（フォレスト2545新書）



トリや昆虫などさまざまな動物のオスとメスの駆け引きや子孫を残すための戦略など、非常にユニークで興味深い知見がちりばめられていて一気に読んでしまう（参考文献がその都度示されていないのが残念ではあるが…）。動物のオスとメスが織りなす求愛についての様々な行動を想像しながら、ヒトの男と女、多様性のありかたについて思いを巡らせるのもよい。

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：文庫・新書 469/H

4 自然と技術——「科学」って何？

宮沢賢治

『銀河鉄道の夜』（岩波文庫、ちくま文庫、新潮文庫など）



新潮版では削られているが、この鉄道の旅全体を実験とよぶ博士が登場する場面もおもしろい。各時代が真実とみなす宇宙像の違い、その変遷の歴史をたどりながら、では自分はどんな像を描き生きるのか。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 908.3/Se/B34（世界 SF 全集）  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 913.6/M（ちくま文庫：宮沢賢治全集）  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 913.8/M（岩波文庫）  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918.6/G/C27（現代日本文学大系）  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918.68/M/D9, 918.68/M/D10（校本宮澤賢治全集）  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 918.68/M/12（新修宮沢賢治全集）  
大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 913.6/M（新潮文庫）  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 913.8/M（岩波文庫）  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 918.6/M（ちくま文庫：宮沢賢治全集）  
すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/M（新潮文庫・岩波少年文庫）  
すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 913.6/M（新潮文庫）

4 自然と技術——「科学」って何？

吉田洋一

『零の発見』（岩波新書）



数学の生い立ちを分かりやすく説明している古典的名著。前半はアラビア数字のインドから欧州への伝搬を、後半はギリシャの数学を中心テーマとしている。無限、対数、連続、デデキントの切断から算盤など、話題も豊富。著者の吉田先生は、いまととき学内でお見かけする吉田夏彦・東工大名誉教授（科学哲学、論理学）のお父上で、本学とも縁が深い。

大岡山図書館 B1F-一般図書 410.2/Y

すずかけ台図書館 2F-一般図書 410.2/Y

4 自然と技術——「科学」って何？

ジェームス・D・ワトソン

『二重らせん』江上不二夫、中村桂子訳（講談社ブルーバックス）



DNAの二重らせん構造を解明するまでの道のりを、当事者のワトソンが書いたもの。科学者が日々どのように考え感じて研究しているか、研究競争とはどんなものかよくわかる。描写の面白さから専門用語は気にならない。

大岡山図書館 B1F-一般図書 464.27/W（講談社文庫）

大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 464.27/W（ブルーバックス）

すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 464.27/W（ブルーバックス）



〈原著〉

The double helix : a personal account of the discovery of the structure of DNA / James D. Watson

大岡山図書館 B1F-一般図書 464.27/W

すずかけ台図書館 2F-一般図書 464.27/W

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

赤瀬川原平

『新解さんの謎』（文春文庫）



日本語の字引は世界の言語の中でもかなり異色だが、中でも『新明解国語辞典』はぶっ飛びの例文がざくざく出てくる。たとえば「恋愛」の項で、「一組の男女が相互にひかれ、ほかの異性をさしおいて最高の存在としてとらえ、毎日会わないではいられなくなる」とある。これに限らず、そこまで書かなくてもと思う語釈が多い。読んでいて実に楽しい辞典が『新明解』である。その『新明解』のおもしろさを物語りに仕立てあげたのが、この本なのだ。

大岡山図書館 B1F-一般図書 914.6/A

すずかけ台図書館 2F-一般図書 914.6/A

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

池上彰

『伝える力』（PHPビジネス新書）



本書は、大学生にぜひ身につけてもらいたいコミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを修得するための方法論を紹介している。随所でエッセイ風に著者の経験談が具体例として挙げられていて、とても読みやすくわかりやすい構成は「伝える力」の実例でもある。目次の項目を意識して実践するだけでも効果がありそうだ。

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 336.4/1

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

今井むつみ、秋田喜美

『言葉の本質——ことばはどう生まれ、進化したか』（中公新書）



日本語にはオノマトベが非常に多い。本書は、こうした日本語特有の表現が持つ役割に光を当て、言語が感覚や行動の理解にどのように寄与するのかを探る一冊である。認知科学や心理学を基に、形式と意味の関連性や人間特有の思考の仕組みも丁寧に紐解かれている。言葉の力を再発見したい方におすすめの一冊。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 801/I

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

ジェイン・オースティン

『高慢と偏見』中野康司訳（ちくま文庫）



イギリスの国民的作家の代表作。いかにもくっつきそうな男女が登場し、番狂わせもなく二人が順当に結婚する古典的ロマンスの何が読者をこれほど惹きつけるのか、考えながら読んでほしい。鋭敏かつ必要最小限の言葉で物語・アイデアを伝える作者の妙技も必見。興味を持ったなら、ぜひ英語で書かれた原作にもチャレンジしてみよう。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 933.6/A/1, 933.6/A/2

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Ie/222（岩波文庫）

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Koc/A（光文社古典新訳文庫）



〈原著〉  
Pride and prejudice / Jane Austen ; retold by Clare West  
大岡山図書館 B2F- 語学・留学用資料 837.7/0/6



〈原著〉  
Pride and prejudice / Jane Austen ; edited with an introduction by Tony Tanner  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 933/A



〈関連図書〉  
自負と偏見 / ジェイン・オースティン [著]；小山太一訳（新潮文庫）  
大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 933.6/A  
すすかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 933.6/A

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

ガブリエル・ガルシア=マルケス

『ガルシア=マルケス中短篇傑作選』野谷文昭編訳（河出文庫）



ガルシア=マルケスの代表作と言えば、ドン・キホーテとも並び称される『百年の孤独』ですが、かなりの長さがあるので手に取ることを躊躇する人もいるかと思います。2022年に出た本書は、ガルシア=マルケス作品への素晴らしい入門書だと思います。収録された作品の中でよく知られるのは、「大佐に手紙は来ない」と「エレンディラ」（正式なタイトルは「純真なエレンディラと邪悪な祖母の信じがたくも痛ましい物語」）の二本の中編ですが、私のお勧めは、元々1992年に刊行された短編集『十二の遍歴の物語』に収められた「聖女」です。（よけいなことを書くと、1992年という年がどんな年なのか、ピンとくるようになる、というのも「教養」なのかもしれません。）

大岡山図書館 B1F-一般図書 963/G

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

ガブリエル・ガルシア=マルケス

『百年の孤独』鼓直訳（新潮社）



コロンビアのノーベル賞受賞作家による、マジックリアリズムの代表作。ガルシア=マルケスの大きな魅力のひとつは、その迫力にみちた見事な語り口にある。うねるような語りの流れに身を任せ、現実と幻想が渾然一体となった豊潤な世界を堪能してほしい。

大岡山図書館 B1F-一般図書 963/G

大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 963/G

すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 963/G



〈原著〉  
Cien años de soledad / Gabriel García Márquez  
大岡山図書館 B1F-一般図書 963/G



〈原著〉  
One hundred years of solitude / Gabriel García Márquez ; translated from the Spanish by Gregory Rabassa  
大岡山図書館 B1F-一般図書 963/G



〈原著〉  
One hundred years of solitude / Gabriel García Márquez ; translated from the Spanish by Gregory Rabassa  
すずかけ台図書館 1F-パリパトス文庫：洋書 963/G

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

木下是雄

『理科系の作文技術』（中公新書）



とにかく早く読んでほしい一冊です。「目標規定文」、「重点先行主義」、「逆茂木型の文章を避ける」、「はっきり言い切る」、「事実と意見」、「まぎれのない文」、などなど。どれも重要です。11章の「スライド」の説明には時代を感じます。

大岡山図書館 81F-一般図書 407/Ki  
大岡山図書館 81F- 文庫・新書 081/Ty/624  
すずかけ台図書館 2F- 一般図書 407/Ki

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

窪園晴夫

『新語はこうして作られる』（岩波書店）

カレーコロッケとコロッケカレー、さてカレーライスの上にコロッケが乗せられて出されるものは、どちら？ またそれはなぜ？ 単語と単語の合成語を複合語と呼ぶが、なんでもかんでも自由なルールで複合語は作られるわけではない。そこにはとても緻密なルールがあるのだ。

大岡山図書館 81F- 一般図書 814/Ku ※ 6 月中旬から貸出可能です

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

黒田龍之助

『外国語をはじめる前に』（ちくまプリマー新書）



本書は、外国語を習得する楽しみや辛さを、言語学の知識を交えながらわかりやすく解説する。「『カッコイイ』ことは、外国語を学ぶ一番のモチベーション」、「辞書は服と同じで、成長に合わせて買い換える」など、眼から鱗の意見が次々と展開される。著者の主張には、語学が嫌いな人も好きな人も共感できるはず。

大岡山図書館 81F-一般図書 801/Ku  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 801/Ku

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

小林隆、澤村美幸

『ものの言いかた西東』（岩波新書）



方言というと、何を思い浮かべるでしょうか。言葉の違い？ 音の高低？ 本書は「決まった言い方をするかしないか」「間接的に言うか直接的に言うか」といった言いかたの地域差に着目し、調査をまとめたものです。コミュニケーションが苦手だと感じている方にお薦めしたい一冊です。

大岡山図書館 81F-一般図書 818/Ko  
大岡山図書館 81F-文庫・新書 081/Id/1496  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 818/Ko

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

五味康祐

『柳生武芸帳』上・下巻（文春文庫）



昭和30年代、週刊誌に連載された時代活劇小説。最初は人物相関図を描きながら多彩な人物像とストーリー展開を楽しんでほしい。その上で、静と動、明暗と色彩、遠と近とを取り入れた視覚的な描写法、あるいは物語中の事物や制度についてのうんちく話の導入といった語り口にも気を向けていきたい。ただし、ところどころに濃い情景が現れる。その方面の描写が苦手ならばこの作品は避けたほうがよい。

大岡山図書館 B1F-一般図書 913.6/G/1, 913.6/G/2

すずかけ台図書館 2F-一般図書 913.6/G/1, 913.6/G/2

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

オリヴァー・サックス

『タングステンおじさん——化学と過ごした私の少年時代』

斉藤隆央訳（早川書房）



映画「レナードの朝」の原作者として知られる脳神経科医の少年時代の回想録。タングステン電球の製造工場を経営していた叔父たち（タングステンおじさん）に助けられて過ごした化学実験三昧の少年時代について。記述だけでも化学の面白さにわくわくする。

大岡山図書館 B1F-一般図書 289.3/Sa

大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/NF/472（ハヤカワ文庫）



〈原著〉  
Uncle Tungsten : memories of a chemical boyhood / Oliver Sacks  
大岡山図書館 B1F-一般図書 430/Sa

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

施光恒

『英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる』（集英社新書）



英語化するというのは日本にどのような変化をもたらすのか、専門分野を日本語で勉強できることがどれほど幸せなことなのか、日本語文化の意義を改めて問い直す「英語が苦手な東工大生」が理論武装するための必読の書。

大岡山図書館 B1F-一般図書 830.4/Se  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 830.4/Se

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

チャールズ・R・ダーウィン

『新訳 ビーグル号航海記』上・下巻 荒俣宏訳（平凡社）



20代のダーウィンを世界的な科学者にした5年間にわたる世界一周航海の記録。帰国して8か月で書かれた初版には進化論的な内容はないが、8年後に書かれた第2版（翻訳もこちらの版から）にはすでに進化論的な記述がある。

大岡山図書館 B1F-一般図書 402.9/D/1, 402.9/D/2  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 402.9/D/1, 402.9/D/2



〈原著〉

Journal of researches into the geology & natural history of the various countries visited during the voyage of H.M.S. Beagle round the world / by Charles Darwin

大岡山図書館 B1F-集密：一般図書 Y036751

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

東畑開人

『聞く技術 聞いてもらう技術』（ちくま新書）



自分に余裕がないと、人の話なんて聞いてあげられない。そんなときは「聞いてもらう技術」を使おう。人間関係の具体的なヒントがたくさん、そして何より読むクスリのような元気をくれる本。

大岡山図書館 81F-一般図書 361.454/To

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

マーク・ピーターセン

『日本人の英語』（岩波新書）



この本の著者は東工大での研究歴があります。書くための英語の本で、読みやすく、関係代名詞の使い方、冠詞の使い方などがとても役に立ちます。同じシリーズの『続 日本人の英語』（1990年）と『実践 日本人の英語』（2013年）もお薦めです。

大岡山図書館 81F-一般図書 835/P  
大岡山図書館 81F-文庫・新書 081/Id/18  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 835/P

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

広瀬友紀

『ちいさい言語学者の冒険——子どもに学ぶことばの秘密』  
(岩波科学ライブラリー)



著者は、子どもたちの言い間違いや疑問から、私たちが当たり前だと思って特に考えもしないような言語の性質を考察します。軽妙な語り口の本ですが、子どもたちの創造力と分析力に目をひられる一冊です。「は」のてんてんを、子供はどう発音するでしょう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 408/I/259  
大岡山図書館 B1F-一般図書 801.04/H  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 408/I/259

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

スコット・フィッツジェラルド

『グレート・ギャツビー』

野崎孝訳(新潮社)または、村上春樹訳(中央公論新社)など



野崎孝訳、村上春樹訳などさまざまな翻訳があり、何度も映画化され、タカラヅカでも上演されていますから、あらすじは省略しましょう。1920年代のニューヨーク郊外を舞台に展開する物語ですが、特定の時間と空間を超越したおとぎ話のような雰囲気があります。そして物語の筋建てよりもずっと素晴らしいのは、青春の輝き、若き人間の絶望、それでも美しい世界への憧れを捨てきれない痛いほどの切実さを描ききる魔法のようなフィッツジェラルドの文章です。だから『ギャツビー』は、やはり映画でも舞台でもなく、本で読むべき物語、それも若き日に一度は読んでほしい物語、だと思います。

大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Koc/F (光文社古典新訳文庫)  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 933.7/F (光文社古典新訳文庫)  
すずかけ台図書館 2F-ペリパトス文庫:和書 933.7/F (村上春樹翻訳ライブラリー)  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 933.7/F  
(村上春樹翻訳ライブラリー・光文社古典新訳文庫)



〈原著〉  
The great Gatsby / F. Scott Fitzgerald ; retold by Clare West  
大岡山図書館 B2F-語学・留学用資料 837.7/0/5



〈原著〉  
The great Gatsby / F. Scott Fitzgerald ; abridged by Nina Wegner  
大岡山図書館 B2F-語学・留学用資料 837.7/L/4



〈原著〉  
The great Gatsby / by F. Scott Fitzgerald  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫:文庫・新書 933.7/F

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

レイ・ブラッドベリ

『華氏451度』(Fahrenheit 451) 伊藤典夫訳 (ハヤカワ文庫SF)



舞台は近未来、その社会では法律により読書が禁じられている。この社会では消防士 (fireman) の仕事は火を消すことではなく、本を所持している者の住居を急襲し火炎放射器で本を燃やし尽くすことなのだ。主人公である消防士モンターグは毎日熱心に本を燃やす仕事に従事していながら、ある日たまたま一冊の本を手にしてしまう。だめだと思いつつ本を開いてみると…。なぜこの未来社会では本は燃やされなければならないのか、人は本を読むことでどのようにその精神を変容させていくのだろうか。読書が禁じられた未来社会についてのこのSF小説を読むことで、僕たちは、ひとまずは自由に読書ができる自分たちの社会を新鮮な観点から眺め直すことができるだろう。フランソワ・トリュフォー監督による同名映画も必見に値する。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 908.3/Se/B13 (世界SF全集)

大岡山図書館 B1F- 一般図書 933.7/B (ハヤカワ文庫)

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 933.7/B (ハヤカワ文庫)

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：文庫・新書 933.7/B (ハヤカワ文庫)



〈電子ブック〉

Fahrenheit 451 / Ray Bradbury ; introduction by Neil Gaiman  
全文 PDF のダウンロード等にはアカウントの作成が必要です。  
<https://ebookcentral.proquest.com/lib/tokyotech/detail.action?docID=4934588>



〈原著〉

Fahrenheit 451 / Ray Bradbury ; introduction by Neil Gaiman  
すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：洋書 933.7/B

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

マーク・C・バイカー

『言語のレシピ——多様性にひそむ普遍性をもとめて』

郡司隆男訳 (岩波現代文庫)



著者はモホーク語などを研究する言語学者。本書は、生成文法において言語の多様性がどのようにとらえられるのかを紹介しています。限られた数のパラメーターでさまざまな言語の違いが説明できることにワクワクしてください。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 801/B

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 801/B



〈原著〉

The atoms of language / Mark C. Baker  
大岡山図書館 B1F- 一般図書 801/B

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

イアン・マキューアン

『贖罪』小山太一訳（新潮文庫）

英国の現代作家マキューアンの傑作。悲恋の物語、戦争の物語としても十分おもしろく読めるのだが、なにより〈物語〉について、〈書く〉という行為について、深く考えさせる作品である。結末のどんでん返しにいたって、読者はまったく異なる視点から物語をふたたび辿りなおすことになるだろう。

大岡山図書館 81F-一般図書 933.7/M/1, 933.7/M/2 ※6月中旬から貸出可能です



〈原著〉

Atonement / Ian McEwan

大岡山図書館 81F-一般図書 933.7/M

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：洋書 933.7/M

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

松本修

『全国アホ・バカ分布考——はるかなる言葉の旅路』（新潮文庫）



柳田国男の方言圏論は「かたつむり」が「でんでんむし」「マイマイ」「ツブリ」「ナメクジ」など日本列島を同心円上に分布することを説いたのであるが、この本は「アホ」は関東、「バカ」は関西、ではどこから「アホ」は「バカ」に変わるのか？ その境界線はどこに引けるのかを大まじめに説いた書である。

大岡山図書館 81F-一般図書 810.2/M（太田出版，新潮文庫）

すずかけ台図書館 2F-一般図書 810.2/M（新潮文庫）

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

水村美苗

『増補 日本語が亡びるとき?英語の世紀の中で』(筑摩書房)



21世紀にあって全ての言語は「普遍語」としての英語とそれ以外のローカル語に二分されつつあります。本書は日本語をテーマとしていますが、その射程は日本語にとどまるものではなく、「英語の世紀において、英語を母語としない人々は自国語/母語とどのように付き合っていくべきか」という普遍的な問いに通じています。英語が嫌いな学生、英語帝国主義的な状況に疑問を覚えたことのある全ての人に強くお勧めします。

大岡山図書館 81F-一般図書 810.4/M  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 810.4/M



〈電子ブック〉

The fall of language in the age of English / Minae Mizumura ; translated by Mari Yoshihara and Juliet Winters Carpenter  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=944983&lang=ja&site=ehost-live>

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

山久瀬洋二

『言い返さない日本人』(IBCパブリッシング)



This book may look like a simple and simplistic bi-lingual primer for businessmen about differences between practices and expectations in Japan and Euro-America, but it is a lot more than that. The author's explanations of culturally bewildering behaviour and attitudes are far from simplistic; they are given for the most part in considerable detail and express the culturally 'common-sense' understanding of situations from both Japanese and 'Western' perspectives. This book should be compulsory reading for anyone intending to be active in business and internationally-framed projects, for Japan and Japanese are almost always involved, so there is always potential for the sorts of misunderstandings analysed here. The parallel Eng-J text is very helpful for our 1st year students.

大岡山図書館 81F-一般図書 361.42/Y  
すずかけ台図書館 2F-語学・留学用資料 361.42/Y



〈電子ブック〉

言い返さない日本人：あなたの態度が誤解を招く！ / 山久瀬洋二著  
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000033635>

5 聞いて、話して、物語る——「言葉」って何？

劉慈欣

『三体』立原透耶監修、大森望、光吉さくら、ワン・チャイ訳  
(早川書房)



三部作から構成される長編 SF 小説、第一部の英訳版によりアジア人初のヒューゴー賞受賞作となった。作家の劉慈欣は発電所でエンジニアを務めながら創作をはじめ、『三体』三部作の前にすでに多くの短編小説を発表しており、いずれも好評されている。物語は文化大革命という中国の実在した歴史問題から語り起こし、さらにニュートン力学にある古典的な三体問題を取り込んだ「ハードコア」な一作である。後に三体星人からの侵略によって展開していき、想像を超えた科学技術を描かれているが、本質的な部分はその人間そのものであり、人類が自分自身と自然、と宇宙社会をいかに見て考えるかをテーマにした思想論としても読める。

大岡山図書館 81F-一般図書 923.7/R

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 923.7/R

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

伊藤計劃

『The Indifference Engine』(ハヤカワ文庫JA)



本作は癌により夭逝した伊藤計劃が短い活動期間の中で遺した短編等を収録した作品集である。表題作は戦争で受けた心理的・身体的傷跡に苦しむアフリカの元少年兵がとある「処置」を受けたことによってコミュニティから排斥され、そして再び仲間と共に武器を手取るに至る軌跡を描いている。著者の代表作『ハーモニー』と並び、理想的な社会から排斥された人々の苦悩を描いた傑作である。

大岡山図書館 81F-一般図書 913.6/I

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

岩波書店編集部編

『カラー版 本ができるまで』（岩波ジュニア新書）



本とは収められたコンテンツだけでなく、印刷された紙を束ねたモノとしても存在している。本書では、技術的な視点からグーテンベルク以来の本作りの歴史とともに、現代において本がどのように出来上がるかが概観される。紙とインクなどの素材が組版、印刷、製本といった作業をへて形をなしていくようすを知ること、本に対する新たな視点を得られるだろう。

大岡山図書館 B1F-一般図書 022/I  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 022/I

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

上田早夕里

『華竜の宮』（ハヤカワ文庫JA）



25 世紀、ホットブルームの活性化によって起こった海底隆起の結果、世界の姿はそれまでとは全く違うものとなっていた。最終的に 250 メートル以上の海面上昇が起こった結果、平野部が大半を占めた国家は国そのものが消滅し、山岳地帯へと逃れようと人口の大移動が起こったことで武力紛争が世界中で勃発した。それでも混乱が一段落すると、人類は再び繁栄を謳歌し始めた。陸上では陸上民が高度な情報社会を築き、海上では海上民が「魚舟」を駆ってコミュニティーを形成した。しかしその繁栄は、更なる災厄の前に訪れた一時の平穏でしかなかった。

大岡山図書館 B1F-一般図書 913.6/U/1, 913.6/U/2

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

岡壇

『生き心地の良い町』（講談社）



生き心地の良い町の特徴はどういうものだろうか。本書は、日本でもっとも自殺の少ない町に着目し、町の歴史から地理的特性、そして住民気質についてインタビューや統計データに基づいて分析した成果をまとめたものである。「生き心地の良い」社会のあり方を考えるきっかけとなるばかりでなく、仮説のたて方から、それを実証していく研究プロセスそのものも興味深い。

大岡山図書館 81F-一般図書 368.3/0  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 368.3/0

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

キース・ジョンストン

『インプロー自由な行動表現』三輪えり花訳（而立書房）

Johnstone, Keith. *Impro: Improvisation and the Theatre*. Bloomsbury Academic, 2018.



インプロ（即興演劇）の創始者の一人による名著で、俳優・演出家・演技指導者などの演劇関係者のみならず、世界中の芸術家、教育者、ビジネスパーソンの間で広く読まれている。レクチャーとワークからなる文章を読んでいると彼のワークショップに参加しているような気持ちになる。ステイタスの章ではコミュニケーションについて、ひらめきの章では創造性について、叙述の技の章では想像力についてたくさんのヒントが得られるだろう。私自身についての章に書かれている彼独特の教育論も世界中の教育者に今でも大きな影響を与えている。

大岡山図書館 81F-一般図書 771.7/J  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 771.7/J

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

菅野恵理子

『MIT マサチューセッツ工科大学 音楽の授業  
—世界最高峰の「創造する力」の伸ばし方』（あさ出版）



マサチューセッツ工科大学（MIT）は創立時から人文学、社会科学などのリベラルアーツ教育を重視している。音楽や演劇などの芸術教育も近年ますます充実してきており、全学部生 4000 人のうち 1500 人が音楽科目を履修している。その MIT の音楽の授業について詳しく知ることができる。理論も実践も学べるのが特徴で、文化・歴史、作曲・理論、音楽テクノロジー、演奏実技（パフォーマンス）など領域も多岐に亘っている。音楽を学ぶことが多様な人間、文化、社会を理解し、創造性を高めることにつながり、芸術とテクノロジーのコラボレーションがイノベーションを生み出していることが感じられる。

大岡山図書館 81F-一般図書 760.7/Su  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 760.7/Su

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

フィリップ・K・ディック

『パーマー・エルドリッチの三つの聖痕』浅倉久志訳（ハヤカワ文庫）



「哲学」は分析し過ぎると対象を破壊し尽し、分裂と孤立と不安を生み、逆に「宗教」は理性の及ばない全体性をもって、人間の深い根っここの存在を抑えてしまう。こう考えて悩む人々にとり、「哲学」と「宗教」の「間」には、それらを媒介する決定的な何かがある筈だ。古典古代においてはそれはストア主義であったし、現代においてはそれに替わるものは精神分析あるいは SF であろう。このドラッグ小説は生まれてこのかた数十回は読んでいて、そのたびに圧倒され、自分の存在を根底から揺り動かされてしまう。（ついで、いつもこれが映画化されていない理由を考える。というのも、知り合いの高名な大学教授は、私の知る限り、『ブレードランナー』を 36 回見ている、「36 回目に初めて、あるシーンの背景に小さく映った絵が神護寺仙洞院の伝源頼朝像だと気付いた」、と言っていたからだ。）

大岡山図書館 81F-一般図書 933.7/D  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 933.7/D



〈原著〉  
The three stigmata of Palmer Eldritch / Philip K. Dick  
大岡山図書館 81F-一般図書 933/D

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

原研哉

『デザインのデザイン』（岩波書店）



無印良品や長野オリンピック、銀座松屋のイノベーションなどに関わってきた著者が実体験を元に語るデザイン論。素材の性質や機能を検討し、あたりまえのことを疑い、社会とのつながりを考慮する。デザインの発想はあらゆる学問や物作りのヒントになるはずです。

大岡山図書館 81F-一般図書 757.04/H  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 757.04/H

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

ブレイディみかこ

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（新潮文庫）



社会の縮図そのものと言っても過言ではない学校。そんな「元・底辺中学校」を舞台に、多様な人種・貧富・性別の生徒が混在する環境で生活する思春期の息子と筆者を描いたノンフィクション作品である。著者自身がブログで「あまりに自分に近いところにある物事を書いている」と綴っている通り、イギリス社会（と世界）の現実から、多様性のある集団ゆえの「分断」の問題を我々が再認識し、思索する契機となる。個人的に「エンパシー（誰かの靴を履いてみること）」については授業でも取り上げ、学生と討論をしたい。

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 376.3/B/1（新潮社）

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

東田直樹

『跳びはねる思考』（イースト・プレス）



This is a set of short essays and interviews with a young man who suffers severe autism but now is known throughout Japan for his writings, and who has also recently become known in Europe and the USA through the enormous success of a translated volume. The essays give insight into not only the subjective world of a “disabled” person, but also contain many ideas and observations about human society and life that are of relevance for all readers. It is well known that there are students at Titech with Asperger’s syndrome and even borderline autism spectrum disorders. Reading this short work would be of considerable value for all our students, enriching their knowledge of the range of human experience but also deepening their capacity for compassion.

大岡山図書館 B1F-一般図書 914.6/H  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 914.6/H

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

ヘルダー

『彫塑』登張正実訳（『世界の名著38』所収 中央公論社）

人でも建物でも、形あるものを夢中で眺めたり作ったりしたことのある人は、その体験の奥行きを著者と語り合ってみよう。物が単なる物以上になる秘密。この本を単純に面白いと思えたら、哲学の大きな流れに立っている。

大岡山図書館 B1F-一般図書 080/Se/73 ※6月中旬から貸出可能です



〈電子ブック〉

Sculpture : some observations on shape and form from Pygmalion's creative dream / Johann Gottfried Herder ; edited and translated by Jason Gaiger  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=366008&lang=ja&site=ehost-live>

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

ホルヘ＝ルイス・ボルヘス  
『伝奇集』 鼓直訳（岩波文庫）



ボルヘスはアルゼンチンの詩人・作家で、文字通り万巻の書を読み込むところから、独自のスタイルの文学を生み出した人で、『伝奇集』（元のタイトルは Ficciones）は彼の代表作の一つです。彼のスタイルをよく表す「チェス」という詩では、「プレイヤーがチェスの駒を動かすが、そのプレイヤーは神に駒のように操られていて、その神はさらに上の神に操られていて…」という、不思議な世界観が繰り広げられています（なおこちらは『伝奇集』ではなく、『創造者』（こちらも岩波文庫刊）という別の本に収録されていて、翻訳では「将棋」となっています）。ラテンアメリカの作家はボルヘスとガルシア＝マルケス以外にも素晴らしい作家さんが沢山いて、コルタサルやバルガス・ジョサ（リヨサ）、フエンテスらの作品がお勧めです。

大岡山図書館 B1F-一般図書 963/B  
大岡山図書館 B1F-一般図書 968/R/1（ラテンアメリカの文学）



〈関連図書〉  
ラテンアメリカ / 篠田一士 [ほか] 訳（集英社ギャラリー「世界の文学」）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 908/Sy/19



〈関連図書〉  
ボルヘス；ナボコフ / [ボルヘス，ナボコフ著]；篠田一士，富士川義之訳（筑摩世界文学大系）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 908/Ti/81

6 見て、感じて、創る——「想像力」って何？

和辻哲郎  
『古寺巡礼』（岩波文庫）



和辻哲郎は哲学者。本書は、彼が 20 代のころ、友人とともに奈良付近の古寺を見物したときの印象記だ。著者自身が言うように、「古美術の研究は自分にはわき道」なのだが、その「わき道」の幅の広さに驚嘆させられる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 121.6/W/2（和辻哲郎全集）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 702.1/W（岩波文庫）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 918.6/H/35（ふるさと文学館）  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Ia/144（岩波文庫）  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 702.1/W（岩波文庫）

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

W・T・ガルウェイ、E・ハンゼリック、J・ホートン

『インナーゲームオブストレス：内面の障害に打ち勝つ!』姉齒康訳、後藤新弥監修（日刊スポーツ出版社）

W. Timothy Gallwey with Edd Hanzelik and John Horton, *The Inner Game of Stress: Outsmart Life's Challenges and Fulfill Your Potential*, New York, Random House, 2009.



1974年に出版されて以来、同著者の『心で勝つ！インナーゲーム』は様々な分野で最高峰を目指す人たちに愛読されてきた。『インナーゲーム』の理念に2人の医師の知識を加えた本で、ストレスに負けない技術を教えてくれる。

大岡山図書館 81F-一般図書 498.39/G  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 498.39/G



〈原著〉

*The inner game of stress : outsmart life's challenges and fulfill your potential* / W. Timothy Gallwey, Edd S. Hanzelik, and John Horton  
大岡山図書館 81F-一般図書 498.39/G

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

高野和明

『幽霊人命救助隊』（文春文庫）



自殺を題材にした小説で、自殺して幽霊となった4人の主人公が今まさに自殺しようと悩んでいる人を助けるというストーリーだ。生きることは今悩んでいることよりもずっと大切なことと思知らされる。

大岡山図書館 81F-一般図書 913.6/Ta  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 913.6/Ta

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

辻邦生

『生きて愛するために』（中公文庫）



著者は、大病を経たことにより、それまでのロマン派的感性を克服し、地上に存在する森羅万象と積極的に交流し、一体化することによって、生きる喜びを十全に享受すべきだと自らの経験を例に読者に自覚を促す。そして具体的な生の素晴らしさ＝奇跡を語る様々なエッセーを通して、死という虚無に囲まれた、ただ一回限りの地上の生を本気で生きるべきだという覚悟を、達意の文で優しく穏やかに主張する。最終章の三つの啓示は、特に印象深い。

大岡山図書館 B1F-一般図書 914.6/Tu  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 914.6/Tu

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

セルジュ・ティスロン

『レジリエンス——こころの回復とはなにか』

阿部又一郎訳（文庫クセジュ、白水社）



昨今、困難な状況をのり越え、不都合な環境のなかで自らを構築し続ける能力であるレジリエンスという概念が様々な領域で注目されています。本書ではレジリエンス研究の歴史をふり返り、この言葉の定義や使用法をめぐるさまざまな相違点について知ることができます。

大岡山図書館 B1F-一般図書 146.2/Ti  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 146.2/Ti

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

ボブ・ディラン

『ボブ・ディラン自伝』菅野ハツケル訳 (SB クリエイティブ)



ボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞したのは、彼の書く歌詞が文学的だったからではない。フォークからロックへ、カントリーからゴスペルへ、更にここ数年はスタンダード・ナンバーを歌ってみたりと、常に表現者としての自らを更新し、再生し続けるその生き様、人生そのものが全ての芸術家の導きとなるような存在なのだ。

大岡山図書館 B1F-一般図書 767.8/D

すずかけ台図書館 2F-一般図書 767.8/D



〈原著〉  
Chronicles / Bob Dylan  
大岡山図書館 B1F-一般図書 767.8/D

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

灰谷健次郎

『天の瞳』(角川文庫)

主人公の倫太郎が幼少期から成長する姿を色々な人との関わりを通して描かれている。人との関わりの中で成長すること、人との繋がりの大切さを実感する。連作ものだが、是非読んで欲しい。

大岡山図書館 B1F-一般図書 913.6/H/1a ~913.6/H/5

※ 6月中旬から貸出可能です

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

チャック・パラニューク

『ファイト・クラブ』(Fight Club) 池田真紀子訳 (ハヤカワ文庫NV)



それなりに大人になり、仕事だって持っている不自由しない生活を送っている。でも、どうにも生きているという実感が湧かないのはなぜだろう？現代人が生きているという実感を本当に得たければ、渴望しているならば、「ファイト」だけが己を救う道だ。本書『ファイト・クラブ』は、そしてタイラー・ダーデンはそう僕達に語りかける。「怖じ気づいてどん底まで落ちられないなら」と前置きし、「そいつは絶対に真の成功を手にはできない」(p. 97)と断じるタイラーの思想はセクシーだがギラギラした危険に満ちている。そして、全ての参加者が夜を徹して対等に素手で殴りあう闇のクラブが設立された時、自分も社会も心地よく崩壊し始めるのだ。自分を規定しようとする世界の枠組みに疑問を持っている人、自分の不器用さに自己嫌悪を感じている人にこそ、原作小説・映画版ともにお薦めしたい。鬼才デヴィッド・フィンチャー監督による同名タイトルの映画版はめくるめく映像と思想の洪水を伴い、常に僕らに獰猛なファイトをしにかけてくる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 933.7/P

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 933.7/P



〈原著〉

Fight club : a novel / by Chuck Palahniuk

大岡山図書館 B1F-一般図書 933.7/P

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

平田オリザ

『わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か』

(講談社現代新書)



コミュ障、人見知り、口下手……。色々な表現があるものの、他人との対面での会話が苦手だと思っている人は案外多い。演劇を専門とする著者が、様々な切り口から人と人との相互のやり取りについて掘り下げてくれる。

大岡山図書館 B1F-一般図書 361.45/H

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 361.45/H

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

ジェイムズ・ヒルマン

『魂のコード——心のとびらをひらく』鏡リュウジ訳（河出書房新社）  
Hillman, James. *The Soul's Code: In Search of Character and Calling*. Grand Central Publishing, 1996.



ユング派心理学の立場からガンディーやヒトラーなど過去の有名な人物の人格を分析しながら、我々にも偉大な可能性を秘めている「どんぐり」が生まれつきあると主張する。環境にも遺伝にも定められない自分を見つけられるかも知れない。

大岡山図書館 B1F-一般図書 146.1/H  
すずかけ台図書館 2F-一般図書 146.1/H



〈原著〉  
The soul's code : in search of character and calling / James Hillman  
大岡山図書館 B1F-一般図書 146.1/H

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

ヘルマン・ヘッセ

『シッダールタ』高橋健二訳（新潮文庫）



厳しい修行に精進し、悟りを得ようとした主人公が、結局そのモノローグ的限界を知り、むしろ自らの狭隘な自我=小我の殻を破碎・放下し、瞬間、瞬間新たに生成する開かれた世界をあるがままに受容することを認識し、自己を解放・再生するプロセスが凝縮して物語られる。最後の、生命の音楽である、せせらぎによる千の声=宇宙に遍満する無限のコトバを、ポリフォニー的に響かせる川との交感シーンが圧巻。

大岡山図書館 B1F-一般図書 943.7/H（新潮文庫）  
大岡山図書館 B1F-一般図書 948.78/H/12（ヘルマン・ヘッセ全集）  
大岡山図書館 B1F-文庫・新書 080/Ie/435（岩波文庫）  
大岡山図書館 B1F-リベラルアーツ資料 943.7/H（新潮文庫）  
すずかけ台図書館 2F-リベラルアーツ資料 943.7/H（新潮文庫）



〈原著〉  
Siddhartha : eine indische Dichtung / von Hermann Hesse  
大岡山図書館 B1F-一般図書 948/H/A9



〈原著〉  
Siddhartha : eine indische Dichtung / Hermann Hesse, mit einem nachwort von Volker Michels  
大岡山図書館 B1F-一般図書 943.7/H

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

星野道夫

『旅をする木』（文春文庫）



写真家、探検家でもある著者が、アラスカの自然、動物、出逢った人々について静かで温かな言葉で綴った33篇のエッセー集。生命に対する優しく澄んだ深い眼差しと、自身の生き方への思いが随所にちりばめられている。

大岡山図書館 81F- 一般図書 295.3/H

すずかけ台図書館 1F- パリパトス文庫：文庫・新書 295.3/H

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

宮本輝

『青が散る』（文春文庫）



主人公が大学時代にテニスに打ち込む姿を描いた青春小説だ。学生時代の恋や友情なども盛り込み青春時代の色々な迷いや想いが描かれている。ひとつのことに打ち込むことの素晴らしさを感じることができる。

大岡山図書館 81F- 一般図書 913.6/M/1, 913.6/M/2

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 913.6/M/1, 913.6/M/2

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

養老孟司

『「自分」の壁』（新潮新書）



「自分」とは地図の中の現在位置の矢印程度である。本書は、著者である医学者で解剖学者の養老孟司氏が、脳、エネルギー、政治、情報など様々なテーマに対する自身の考えを綴ったエッセイである。「自分探しなど無駄」と一刀両断にした意見にはドキリとさせられる。自分だったらどう感じる？どう考える？と、現在位置の矢印の向きを知るための道標となる一冊である。

すずかけ台図書館 1F- パリパトス文庫：文庫・新書 304/Y

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

オスカー・ワイルドほか

『ゲイ短編小説集』（平凡社ライブラリー）



男性同性愛を題材としたイギリス短編小説のアンソロジー。と言っても、明確に男性同士の性愛が描かれた作品ばかりが収められているわけではない。どれか一篇を読んだ後、監訳者の大橋洋一の解説に目を通して見てほしい。目から鱗が落ちるような体験ができる。同じく平凡社ライブラリーに入っている『レズビアン短編小説集』、『クィア短編小説集』もお薦め。

大岡山図書館 B1F- 一般図書 933.78/G

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/H/315

すずかけ台図書館 1F- パリパトス文庫：文庫・新書 933/W



〈電子ブック〉  
ゲイ短編小説集 / 0. ワイルドほか著；大橋洋一監訳  
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000024210>



〈電子ブック〉  
The complete short stories of Oscar Wilde / Oscar Wilde  
<https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=1155892&lang=ja&site=ehost-live>

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

『ラサリーリョ・デ・トルメスの生涯』会田由訳（岩波文庫）



16世紀のスペインで出版され大流行した、作者不詳の作品。ピカレスク小説（悪漢小説）と呼ばれるジャンルの代表作だが、飢えをしのごために知恵を働かせる主人公ラーサロは、「悪者」というよりも愛嬌のあるいたずら小僧だ。主人から食べ物をだまし取る手口は痛快で、ユーモアに溢れている。広大な領土を誇ったスペインの繁栄の影で、貧困に苦しむ下層階級の人々が存在した現実も描かれている。

大岡山図書館 B1F-一般図書 963/A

7 生きて、愛して、旅をする——「人生」って何？

Albom, Mitch. Tuesdays with Morrie:  
An Old Man, a Young Man, and Life's Greatest Lesson.  
Anchor Books, 1997.



Mitch Albom reconnected with his sociology professor Morris (Morrie) Schwartz after seeing him on the television program "Nightline" with Ted Koppel. After learning that Morrie was dying of Amyotrophic Lateral Sclerosis (ALS), Mitch met with Morrie every Tuesday, just as he did when he was a student at Brandeis University. However, this time, Mitch traveled from Michigan to Morrie's house in Massachusetts for a course on "The Meaning of Life." This book recounts their discussions on topics such as love, fear, family, forgiveness, community, and most importantly, death. Morrie, the "Coach," imparted knowledge and wisdom to his student and friend, Mitch: Life boils down to loving each other, engaging in one's community, and living for a purpose. Fame, work, and money are secondary to the vital aspects of life. May we find truth in Morrie's words.

大岡山図書館 B1F-一般図書 837.7/A

すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 837.7/A



〈関連図書〉  
モリー先生との火曜日 / ミッチ・アルボム著；別宮貞徳訳  
すずかけ台図書館 1F-ペリパトス文庫：和書 936/A



〈関連図書〉  
モリー先生との火曜日 / ミッチ・アルボム著；別宮貞徳訳  
大岡山図書館 B1F-一般図書 936/A

